

## 事務事業評価事業一覧表(令和5年度決算)

一般会計

事務事業番号	目			担当部署	事業の評価	ページ
	款	項	事業名			
	教育費	教育総務費	教育指導費			
10010301			外国語教育推進事業	指導室、学校教育課	A	368
10010302			いじめ問題対策事業	指導室	B	369
10010303			小中学校文化活動助成	学校教育課	A	370
10010304			平取養護学校週末帰省用送迎バス運行事業補助	学校教育課	A	371
10010305			スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業	指導室	B	372
10010306			学力向上推進事業	指導室、学校教育課	A	373
10010307			苫小牧市統一学力検査事業	指導室、学校教育課	B	374
10010308			校務用パソコン整備事業	総務企画課	A	375
10010309			小学校用教科用図書採択事業	学校教育課	A	376
10010310			コミュニティ・スクール（CS）事業	学校教育課	A	377
10010311			学習用ICT環境整備事業	総務企画課	A	378
10010312			不登校対策事業	指導室	B	379
	教育費	教育総務費	給食共同調理場費			
10010401			学校給食用食器更新事業	学校給食共同調理場	A	380
10010402			学校給食食缶更新事業	学校給食共同調理場	A	381
10010403			学校給食支援事業	学校給食共同調理場	A	382
10010404			学校給食支援事業（第2回）	学校給食共同調理場	A	383
	教育費	教育総務費	諸費			
10010501			教育施設整備基金積立金	総務企画課	A	384
10010502			フッ化物洗口事業	学校教育課	A	385
10010503			多子世帯給食費助成事業	学校教育課	A	386
10010504			植苗中学校学校林整備事業	学校教育課	A	387
10010505			学校教育活動継続支援事業	総務企画課	A	388
	教育費	小学校費	学校管理費			
10020101			小学校校舎等改修	施設課	A	389
10020102			児童用机・椅子整備事業	総務企画課	B	390
10020103			植苗小中学校スクールバス運行管理業務委託事業	総務企画課	A	391
	教育費	小学校費	教育振興費			
10020201			小学校図書館用図書整備	学校教育課	B	392
	教育費	小学校費	学校建設費			
10020301			樽前小学校改築事業【継続事業】	施設課	A	393
10020302			ウトナイ小学校校舎増築事業【継続事業】	施設課	A	394
10020303			大成小学校改築事業	施設課	A	395
10020304			沼ノ端小学校大規模改修事業【継続事業】	施設課	A	396
10020305			植苗小中学校大規模改修事業	施設課	A	397
	教育費	中学校費	学校管理費			
10030101			中学校校舎等改修	施設課	A	398
10030102			生徒用机・椅子整備事業	総務企画課	B	399
10030103			部活動指導員配置事業	学校教育課	B	400
10030104			防音機能復旧事業【繰越明許】	施設課	A	401
	教育費	中学校費	教育振興費			
10030201			中学校図書館用図書整備	学校教育課	B	402
	教育費	中学校費	学校建設費			
10030301			明野中学校外部改修事業	施設課	A	403
10030302			啓明中学校外部等改修事業	施設課	A	404
10030303			開成中学校外部改修事業【繰越明許】	施設課	A	405
	教育費	社会教育費	社会教育総務費			
10040101			文化芸術振興計画事業	生涯学習課	A	406
10040102			苫小牧市史編集事業	市史編集事務局	B	407
10040103			文化財保護保存事業	生涯学習課	B	408
10040104			生涯学習推進計画事業	生涯学習課	A	409
10040105			市民文化芸術振興基金積立金	生涯学習課	A	410
	教育費	社会教育費	社会教育施設費			
10040201			中央図書館コンピュータシステム事業	生涯学習課	A	411
10040202			社会教育施設整備	生涯学習課	A	412
10040203			図書館情報システム更新事業	生涯学習課	A	413
10040204			社会教育施設補償金	生涯学習課	A	414
10040205			社会教育施設電気料金高騰支援補償金	生涯学習課	A	415
	教育費	社会教育費	美術博物館費			
10040501			遺跡発掘調査等事業	美術博物館	A	416
10040502			美術博物館企画展示事業	美術博物館	A	417
10040503			美術博物館特別展事業	美術博物館	B	418
10040504			美術博物館祭事業	美術博物館	A	419
10040505			アイヌ文化関連展示整備事業	美術博物館	A	420
10040506			出光美術館名品選事業	美術博物館	A	421

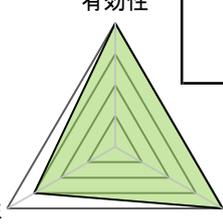
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 03教育指導費

事務事業番号 10010301

事業名		外国語教育推進事業		担当部署	教育部 指導室、学校教育課					
根拠法令										
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価 <b>A</b>			
	予算・決算額(A)	71,526	70,523	74,599						
	(A)の内訳	国道支出金								
		地方債								
		その他		8						
		一般財源	71,526	70,515				74,599		
	人件費(B)	1,275	1,275	1,275						
事業費計(A+B)	72,801	71,798	75,874							
事業の目的	外国語指導助手（ALT）を任用し、ネイティブな英語に触れる機会を充実させることで、本市の外国語教育、国際理解教育の充実及び外国人とのコミュニケーション能力の育成を図ります。									
事業の内容 SDGs17の目標	 <ol style="list-style-type: none"> <li>市内全小・中学校に外国語指導助手（ALT）を配置しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学校の外国語活動及び外国語科での指導の補助</li> <li>ALTを活用した外国語授業の充実により、実践英語や言語・文化理解の促進</li> </ul> </li> <li>国際理解に関わる教育活動に外国語指導助手（ALT）を派遣しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子ども教室での国際交流事業</li> <li>ナナカマド教室での国際交流事業</li> <li>イングリッシュカフェでの国際交流事業</li> <li>市内幼稚園・保育所での英語に触れる活動</li> <li>他市町村小・中学校での外国語と触れ合う機会の提供</li> </ul> </li> </ol>									
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度				
	派遣する小・中学校数		校	37	39	39				
	外国語指導助手（ALT）外部派遣数		回	91	63	43				
項目評価	高 → 低				評価の理由					
	4	3	2	1						
	有効性	●							小・中学校における外国語教育や、苫小牧市民への国際理解に関わる教育活動において、外国語指導助手（ALT）が有効に活用されており、外部派遣数も令和4年度より増加しているため、「4」としました。	
	効率性	●							外国語指導助手（ALT）を活用することで、英語を使った現実的かつ必然性のあるコミュニケーション場面を与えるなど、英語によるコミュニケーション能力育成のために効率的であるため、「4」としました。	
公平性		●			各校とも、年間を通して外国語指導助手（ALT）を配置するよう努めたが、学校規模により、ALTに係わる外国語の授業時間に格差が出ている現状があるため、「3」としました。					
事業の課題 今後の方向性	項目評価のとおり、目的に応じた成果を得ることができていますが、外国語指導助手（ALT）の活用を、市内の児童生徒、及び市民の国際交流意識の向上に結び付けるために、ALTの指導力向上を図る研修の充実、ALTをサポートする体制作りにも努め、より実効性のある取組を継続していきたいと考えております。						事業終了の 予定の有無			
							無			
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 03教育指導費

事務事業番号 10010302

事業名		いじめ問題対策事業		担当部署	教育部 指導室		
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	562	210	577		B	
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	562	210			577
	人件費(B)	945	945	945			
事業費計(A+B)	1,507	1,155	1,522				
事業の目的	「子ども専用悩みごと相談メール・電話」、「こころの授業」、「苦小牧市いじめ問題子どもサミット」の実施などにより、いじめ問題の根絶に向けた取組を推進します。						
事業の内容 SDGs17の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>「子ども専用悩みごと相談メール・電話」を設置しました。</li> <li>市内小・中学校において「こころの授業」を実施しました。</li> <li>「苦小牧市いじめ問題子どもサミット」を実施しました。</li> <li>悩みごと相談窓口一覧を掲載した「学びの居場所さがし」を発行し、広く周知に努めました。</li> </ol>						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度	
	子ども専用悩みごと相談メール・電話対応件数		件	36	20	20	
	いじめ解消率		%	100	100	100	
	こころの授業を実施した小・中学校の割合		%	100	100	100	
項目評価	高 → 低		評価の理由				
	4	3	2	1			
	有効性		●		いじめの問題はいつの時代においても緊要の教育課題であり、本事業の果たす役割は大きいと、「3」としました。		
	効率性			●	いじめ問題の根絶は困難であり、効率性を上げられない面もありますが、継続した対策を講じているため、「2」としました。		
公平性		●		問題の特性から効果の即効性は見えにくいですが、いじめを生まない・許さない支持的風土を醸成するために本事業は重要であるため、「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性	悩みを抱える児童生徒の相談窓口として「子ども専用悩みごと相談電話・メール」の継続は不可欠だと考えます。さらに、「学びの居場所さがし」を発行し、悩みに応じて「誰が」「どこに」「どのような」相談ができるのかをまとめ、相談のしやすさにつなげました。令和5年度で11回目となった「苦小牧市いじめ問題子どもサミット」は、参加児童生徒にとっていじめの問題を根絶するため、主体的に考える機会となりました。その経験を基に、児童会・生徒会を中心とした各学校でのいじめ問題に対する取組が推進されております。					事業終了の 予定の有無  無	
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 03教育指導費

事務事業番号 10010303

事業名		小中学校文化活動助成		担当部署	教育部 学校教育課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)		1,000	833	1,000			A
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	1,000	833	1,000			
	人件費(B)		715	715	715			
事業費計(A+B)		1,715	1,548	1,715				
事業の目的		苫小牧市立小中学校における文化活動の振興を目的とした活動（学校教育活動の一環として行われる文化活動）で全道、全国大会へ出場する学校に対して、その経費の一部を補助します。						
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>「小中学校文化活動補助金交付要綱」に基づき、予選・審査等を経て全道及び全国大会に出場する場合に、大会ごと1種目1回に限り補助します。全国大会の出場時の上限を100万円としています。 令和5年度は、吹奏楽コンクール3校3種目、北海道アンサンブルコンテスト2校2種目に補助しました。</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度		
		全道・全国大会出場種目数	種	5	7	5		
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				文化振興を推進し、児童生徒の学校生活を充実させており、保護者の負担軽減ともなるため、有効性が高いと考えています。		
効率性		●				文化活動に係る全国・全道大会に出場する際に一部の補助を行っており、効率性が高いと考えています。		
公平性		●				文化活動に係る全国・全道大会に出場する際に補助を行っており、補助基準が一律であるため公平性が高いと考えています。		
事業の課題 今後の方向性		引き続き事業を公正・公平に継続していきます。					事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

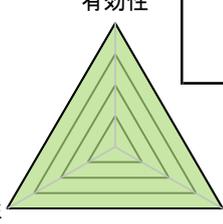
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 03教育指導費

事務事業番号 10010304

事業名		平取養護学校週末帰省用送迎バス運行事業補助		担当部署	教育部 学校教育課						
根拠法令											
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価				
	予算・決算額(A)	1,500	1,500	2,336			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>				
	(A)の内訳										
	国道支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源	1,500	1,500	2,336							
人件費(B)	715	715	715								
事業費計(A+B)	2,215	2,215	3,051								
事業の目的		平取養護学校に在籍し寄宿舎生活している児童生徒の保護者に対して、週末帰省用バス運行に係る費用の一部を補助し、保護者の負担軽減を図ります。									
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>平取養護学校に在籍し寄宿舎生活をしている児童生徒が週末に自宅へ帰省する際に、同校父母の会が運営する「帰省用送迎バス運行事業」の運営費の一部を補助しています。補助額については、平取町や父母の会との協議により決定しています。</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度			
		本市からの児童生徒数			人	32	36	35			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							経済的な負担の軽減により、子どもたちにとって適切な学びの場である養護学校を安心して選択することができる効果は高いと考えています。		
効率性		●							児童生徒の就学機会の拡充と保護者の負担軽減を目的としており、効率性は高いと考えています。		
公平性		●				児童生徒の就学機会の拡充と保護者の負担軽減を目的としており、公平性は高いと考えています。					
事業の課題 今後の方向性		今後も事業を公正・公平に継続していきます。					事業終了の 予定の有無				
							無				
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 03教育指導費

事務事業番号 10010305

事業名		スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業		担当部署	教育部 指導室				
根拠法令									
予算・決算 （千円）	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		13,176	12,984			14,144		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div>
	(A)の内訳	国道支出金	705	945			756		
		地方債							
		その他							
		一般財源	12,471	12,039			13,388		
	人件費(B)		27,577	27,577			27,577		
	事業費計(A+B)		40,753	40,561			41,721		
事業の目的		いじめ、不登校、暴力行為、虐待等、問題を抱えている児童生徒やその家庭に支援し、社会的環境を改善します。							
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>SSW 9名を配置しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全小・中学校の訪問を実施</li> <li>・学校や保護者から要請があった家庭に対し、教育の専門知識に加え、社会福祉等の専門的知識・技能を用いて児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけました。</li> </ul>							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度	
		相談件数			件	646	652	641	
		支援件数			件	113	110	118	
		ケース会議開催件数			件	57	35	53	
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
		有効性		●			課題を抱えている児童生徒や保護者が多く、課題解決のために関係機関との適切な接続・連携には本事業の有効性は高いため、「3」としました。		
		効率性			●		解決困難な事例が多く長期的な視点での支援が必要であることから、短期的な視点での効率性にはなじまない側面があるため、「2」としました。		
公平性		●			学校、児童生徒、保護者、関係機関等、様々な背景を押さえながら複数の視点で支援していくため、「3」としました。				
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり概ね目的に適った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、担当SSWの力量によらないアセスメント・プランニングが可能となる取組を実施していきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

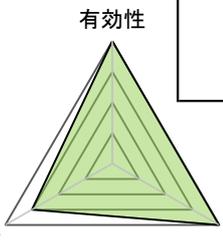
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 03教育指導費

事務事業番号 10010306

事業名		学力向上推進事業			担当部署	教育部 指導室、学校教育課		
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	2,494	2,298	2,666				
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源	2,494	2,298	2,666				
	人件費(B)	7,151	7,151	7,151				
事業費計(A+B)	9,645	9,449	9,817					
事業の目的		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善の取組として、指導資料の作成や研修講座を開設し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた研修を推進します。</li> <li>全国学力・学習状況調査等の結果に基づく課題を踏まえて、外部講師等を招聘した研修会を実施するとともに、本市の授業改善の推進を中心となって担う教員が先進地を視察します。</li> </ul>						
事業の内容 SDGs17の目標		 <ol style="list-style-type: none"> <li>先進地視察の実施 対象：市内の授業改善を中心的に担う教員 目的：明らかになっている本市の課題を解決するための指導資料の作成や実践的な研修講座の開設に向けて、先進的な取組を行っている地域を視察しました。</li> <li>指導資料「授業改善Leaf」「ICT活用Leaf」の作成 対象：市内の小・中学校教員 目的：全国的な調査・検査から明らかになった課題を中心に、国語科や算数・数学科、ICT活用等における実践例などをまとめ、日々の授業改善に生かす資料としました。</li> <li>実践的な研修講座の開設 対象：市内小・中学校教員 目的：指導資料「苦小牧っ子学力UP！ハンドブック」や「授業に基づいて、長期休業中に、苦小牧市教育研究所において授業づくりに関する実践的な講座を開設しました。</li> <li>家庭教育情報紙「ほ・む・す・く」の作成 対象：市内小・中学校児童生徒の保護者 目的：学校と家庭・地域が子どもの学びに関する課題を共有し、一貫した指導を行うために生活習慣・体力向上・家庭学習に関することなど様々な情報を提供しました。</li> <li>小中連携教育の推進 対象：全中学校エリア 目的：小・中学校間の継続した学習指導の連携を図るために、研究指定校を設定し、実践を紹介しました。</li> </ol>						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度		
		「授業改善Leaf」「ICT活用Leaf」「小中連携の取組事例」の発行数	回	9	9	13		
		実践的な研修講座の参加人数	人	293	226	221		
		家庭教育情報紙「ほ・む・す・く」の発行回数	回	5	5	5		
項目評価		高 → 低	評価の理由					
		4 3 2 1						
有効性		●					「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による授業改善の具体を示し、多くの先生方や保護者に周知できたため、「4」としました。	
効率性		●					研修講座ではオンラインと直接講師と触れ合える対面の2方式で開催することや研修の内容を動画投稿サイトにアップロードして、いつでも学ぶことができる環境を整えることができたため、「4」としました。	
公平性			●				視察の内容を発表したり、授業改善Leaf等で紹介したりするなど多くの先生方や保護者に周知できるようにしたため、「3」としました。	
事業の課題 今後の方向性		今年度新たに設定した授業改善策を各小中学校が実践し、その質をあげていくために、さらに事業内容の充実に努めます。より多くの先生方および保護者に届くようさまざまな形で情報発信を行います。					事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

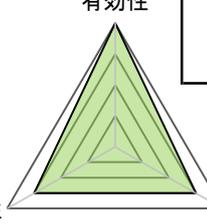
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 03教育指導費

事務事業番号 10010307

事業名		苦小牧市統一学力検査事業		担当部署	教育部 指導室、学校教育課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	5,791	5,361	5,809				<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">B</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	5,791	5,361					5,809
	人件費(B)	715	715	715					
事業費計(A+B)	6,506	6,076	6,524						
事業の目的		<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の小学4年、5年、6年、中学1年、2年の児童生徒を対象に全国標準学力検査を実施し、全国基準に照らして客観的に把握するとともに、「苦小牧市学校教育推進計画」に基づいた授業改善に努めます。</li> <li>複数学年にわたる学力実態を経年比較で把握する一助とします。</li> </ul>							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <p>「苦小牧市統一学力検査」の実施            対象：小学校第4学年、小学校第5学年、小学校第6学年            中学校第1学年、中学校第2学年            内容：国語及び算数・数学の全国標準学力検査（目標準拠評価方式）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施するテストは民間業者が作成した学力検査を活用し、採点・集計・各種データの作成も含まれます。</li> </ul>							
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度			
		受検者数	人	7,133	6,802	7,004			
		活用講習会参加校	校	38	38	38			
		各学校による結果及び考察の公表数	校	38	38	38			
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				実施した全校で結果の考察を実施し、課題について把握しました。出てきた課題については、具体的な対策を講じて改善できることから、「4」としました。			
効率性			●			単価400円であり、必要最低限の経費で実施することができているため、「3」としました。			
公平性			●			小学4年生から中学2年生まで全員を対象としていることから、「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性		全国基準に照らして本市の児童生徒の学力を把握することができており、市教委や各学校で見えてきた課題を改善しようと、授業改善や保護者への学習アドバイスを行うことができています。今後は、成果と課題を中学校区で共有した上で、小中連携による取組の推進が必要です。				事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

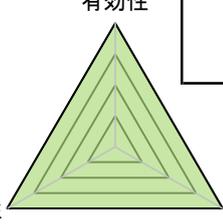
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 03教育指導費

事務事業番号 10010308

事業名		校務用パソコン整備事業		担当部署	教育部 総務企画課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	84,669	82,533	124,918			<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他	24,500	22,610				124,900
		一般財源	60,169	59,923				18
	人件費(B)	10,727	10,727	10,727				
	事業費計(A+B)	95,396	93,260	135,645				
事業の目的	市内全小中学校の教職員用のパソコン一人一台配備、学校間専用ネットワークの敷設・運用及び校務支援システム等業務システムを導入します。							
事業の内容 SDGs17の目標	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校間の専用ネットワーク（教育LAN）の保守・運用</li> <li>・教職員用ノートPCの保守・運用</li> <li>・モバイルデータ通信契約</li> <li>・サーバホスティングによるICT環境の整備</li> <li>・校務支援システム利用環境の整備 等</li> <li>・【R5新規】教職員用ノートPCの更新</li> </ul>							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度		
	事業達成率		%	100	100	100		
項目評価	高 → 低		評価の理由					
	4	3	2	1				
	有効性	●			校務におけるICT環境の整備を行うことで、校務の効率化とあわせて情報漏えい等のセキュリティリスクの低減を達成することができたため、「4」としました。			
	効率性	●			ネットワークやファイルサーバの集約などにより、効率的な運用を行うことができていることから、「4」としました。			
公平性	●			市内小中学校の教員が同じICT環境・サービスを利用することにより、校務の効率化に寄与していることから、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	本事業は小中学校における校務の効率化やセキュリティの強靱化、教員のICTリテラシー向上などに大きく寄与していることから、引き続き本市のICT教育の推進のため、本事業を実施していきます。						事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

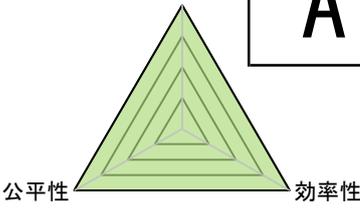
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 03教育指導費

事務事業番号 10010309

事業名		小学校用教科用図書採択事業		担当部署	教育部 学校教育課		
根拠法令		義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律等					
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価 	総合評価 <b>A</b>	
	予算・決算額(A)	1,143	980	1,272			
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他					
	一般財源	1,143	980	1,272			
	人件費(B)	358	358	358			
事業費計(A+B)	1,501	1,338	1,630				
事業の目的	【義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令 第14条】により、教科書の採択期間は4年間と定められており、平成31年度に採択をした小学校用教科書及び学校教育法附則第9条第1号の一般図書の追加分について採択を行います。教科用図書に関する専門的な調査研究と意見を聴取することを目的とし、苫小牧市教科用図書調査研究委員会を設置します。						
事業の内容 SDGs17の目標 	<ol style="list-style-type: none"> <li>教科書展示会の開催 中央図書館及び教育・福祉センターにて展示会を開催しました。</li> <li>調査研究委員の委嘱 調査研究委員は、校長からの推薦等により教員や保護者等59名を委嘱しました。</li> <li>調査研究委員会の開催 調査研究委員会を開催して、専門的な調査研究を行い報告書を作成しました。</li> <li>教科用図書の採択 調査研究委員会からの報告や勉強会の開催などを経て、8月の定例教育委員会において採択しました。</li> </ol>						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度	
	調査研究委員会開催回数		回	2	2	実施なし	
	展示会意見件数		件	91	実施なし	実施なし	
項目評価	高 → 低			評価の理由			
	4	3	2				1
	有効性	●				児童生徒の実態に合わせた教科用図書を採択したことから、有効性が高いと考えているため、「4」としました。	
	効率性	●				各種目ごと必要最低限の経費で調査研究を行ったため、「4」としました。	
公平性	●				教科書採択において、公正性及び透明性が求められており、公正確保の徹底に務めたため、「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性	令和6年度は、中学校用の教科書及び学校教育法附則第9条第1号の一般図書の採択事業があり、引き続き公正・公平に事業を実施します。					事業終了の 予定の有無	
						無	
特記事項	令和6年度から、小中学校用教科用図書採択事業となります。						

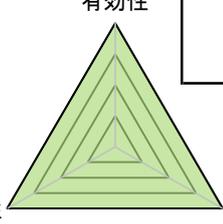
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 03教育指導費

事務事業番号 10010310

事業名		コミュニティ・スクール（CS）事業		担当部署	教育部 学校教育課						
根拠法令		地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5									
予算・決算 （千円）	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価				
	予算・決算額(A)	10,817	9,746	10,815			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>				
	(A)の内訳	国道支出金									
		地方債									
		その他									
		一般財源	10,817	9,746				10,815			
	人件費(B)	2,145	2,145	2,145							
事業費計(A+B)	12,962	11,891	12,960								
事業の目的		地域住民や保護者、有識者等からの意見を学校運営に生かしながら、児童生徒の学習及び体験活動の充実を図り、特色ある学校づくりを目指すため、学校が地域と一体となることを目的とします。									
事業の内容 SDGs17の目標		<p>令和5年度から市内全小中学校でコミュニティ・スクールを導入しました。</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会設置（令和5年4月）</li> <li>・学校運営協議会委員の任命（令和5年4月）</li> <li>・学校運営協議会会議（令和5年4月～令和6年3月）</li> <li>・特色ある学校づくりの推進 （例：学校菜園活動、外部講師講座（地域人材の活用））</li> <li>・総合的な学習活動の推進 （例：地域探索・伝統文化学習（社会科見学）、キャリア教育・進路学習）</li> </ul> <p>◆16学校運営協議会</p> <p>①苦小牧東中学校区 ②勇払中学校区 ③光洋中学校区 ④啓北中学校区 ⑤和光中学校区 ⑥凌雲中学校区 ⑦植苗小中学校区 ⑧沼ノ端中学校区 ⑨開成中学校区 ⑩明倫中学校区 ⑪啓明中学校区 ⑫明野中学校区 ⑬緑陵中学校区 ⑭青翔中学校区 ⑮ウトナイ中学校区 ⑯樽前小学校</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度			
		CS設置地区数			地区	16	2	2			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							地域と学校の協力・連携のもと、CS関連事業が順調に進められています。		
効率性		●							地域と連携した学校運営を進めることにより、安心安全な学校づくりの推進に取り組んでいます。		
公平性		●				令和2年度から2地区でCSを導入し、令和5年度から市内全地区（16地区）で導入しました。					
事業の課題 今後の方向性		今後も地域とともにある学校づくりを推進していきます。						事業終了の 予定の有無			
								無			
特記事項											

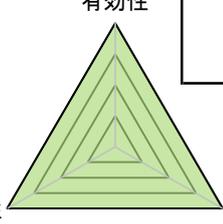
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 03教育指導費

事務事業番号 10010311

事業名		学習用ICT環境整備事業		担当部署	教育部 総務企画課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	220,093	218,637	136,501			A		
	(A)の内訳	国道支出金	16,712	16,712					
		地方債							
		その他	202,679	201,924				136,500	
		一般財源	702	1				1	
	人件費(B)	10,727	10,727	10,727					
	事業費計(A+B)	230,820	229,364	147,228					
事業の目的	学習用サーバと学習用ネットワークのホスティングにより、学習用ICT環境の維持・運用を行います。また、GIGAスクール構想への対応として整備した、児童・生徒用の学習用タブレットPCを含む校内ICT環境についても、維持・運用を行います。								
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>                         【令和2年度事業】                          ・学習用タブレットPCの1人1台化                          ・タブレット用充電保管庫の整備                          ・小中学校特別教室等へのWi-Fi環境整備                          ・モバイルWi-Fiルーターの整備                          ・メール配信システムの更新                          ・中学校普通教室への大型モニター整備                          ・オンライン教材サービスの導入                          【令和3年度事業】                          ・ICT機器の利活用に係る教員研修、サポート                          ・整備済み端末の保守・運用                          ・端末持ち帰りに向けた環境整備及びモバイルWi-Fiルーターの貸与                          【令和4年度事業】                          ・指導者用タブレットPCの整備                          【令和5年度事業】                          ・無線LANアクセスポイントの更新                     </p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
	事業達成率		%	100	100	100			
項目評価	高 → 低		評価の理由						
	4	3	2	1					
	有効性	●			新たに無線LANアクセスポイントの更新を推進し、本市のICT教育の推進に大きく寄与したため、「4」としました。				
	効率性	●			国の各種補助金等の活用により、本市の費用負担を大きく低減することができたため、「4」としました。				
公平性	●			感染症等の非常時だけでなく、長期間の入院時においても、学習用タブレットPCの使用が可能な環境を整備し、学びの機会を保障するなど、公平なICT機器の活用機会の確保を達成することができたため、「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性	学校におけるICT環境の整備・活用を一層推進することができました。引き続き教員への継続的なサポートをするとともに、児童生徒の学習活動におけるICT機器の活用機会充実に向けて、事業を実施してまいります。					事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

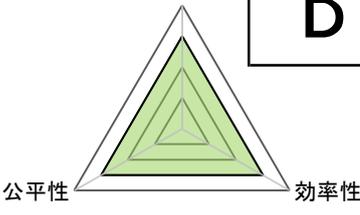
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 03教育指導費

事務事業番号 10010312

事業名		不登校対策事業		担当部署	教育部 指導室				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価 	総合評価 <b>B</b>			
	予算・決算額(A)	809	765	819					
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	809	765			819		
	人件費(B)	7,887	7,887	7,887					
事業費計(A+B)	8,696	8,652	8,706						
事業の目的	不登校児童生徒を対象とした教育支援センターの運営や不登校対策モデル校を小中各1校指定し、校内での居場所づくりや学習支援などの対策を強化するなど、個に応じて社会的自立を目指した支援・指導を行います。								
事業の内容 SDGs17の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>不登校児童生徒を対象とした教育支援センターを運営しました。</li> <li>不登校対策モデル校を小中各1校指定しました。</li> <li>教育支援センターを市内2か所から3か所に増やし公平性を担保しました。</li> </ol>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
	教育支援センター級児童生徒数		人	37	22	44			
	専任指導員による巡回相談実施校率		%	100	100	100			
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性		●			不登校児童生徒に対する学びの保証に向けて、教育支援センターや校内での支援体制の確立は不可欠であるため、「3」としました。			
	効率性		●			集団適応の難しい児童生徒に対して、段階的な学びの場として教育支援センターを利用して個に応じた支援が進んでいるため、「3」としました。			
公平性		●			教育支援センターを市内に3カ所運営し、これまで自宅から遠く離れていて通うことが困難だった児童生徒が通いやすくなったため、「3」としました。				
事業の課題 今後の方向性	教育支援センターに通級することで、不登校の状態が改善した児童生徒がみられ、不登校児童生徒に対する支援の充実に貢献しています。					事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

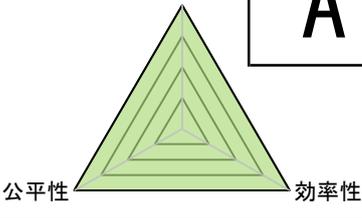
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 04給食共同調理場費

事務事業番号 10010401

事業名		学校給食用食器更新事業		担当部署	教育部 学校給食共同調理場	
根拠法令		学校給食法				
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価 	総合評価 <b>A</b>
	予算・決算額(A)	6,654	6,653	6,654		
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他	1,200	1,200	1,200		
	一般財源	5,454	5,453	5,454		
	人件費(B)	715	715	715		
事業費計(A+B)	7,369	7,368	7,369			
事業の目的	老朽化した学校給食用食器を、リース方式で更新します。					
事業の内容 SDGs17の目標	  <p>共通絵柄を印刷したPEN食器3種、全48,800枚の賃貸借です。 (賃貸借期間：令和4年1月1日～令和10年12月31日)</p> <p>効果的かつ持続可能な事業計画の企画提案をプロポーザル方式により民間事業者から募集し、購入による一括更新からリースによる更新に見直すことで単年度事業費の圧縮を図りました。 また、学校給食配送車への広告掲載を導入し、広告料収入を活用したことで事業に要する一般財源の圧縮に繋がります。</p>					
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度
項目評価	高 → 低		評価の理由			
	4	3	2	1		
有効性	●				リース方式を採用したことで、単年度あたりの財務的負担を軽減することができたため、「4」としました。	
効率性	●				広告料収入を活用したことで、事業に要する一般財源を圧縮できたため、「4」としました。	
公平性	●				プロポーザル方式の契約であったため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性	長期継続契約のため、事業終了年度までは継続します。					事業終了の 予定の有無
						有 (令和10年度)
特記事項						

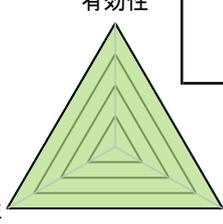
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 04給食共同調理場費

事務事業番号 10010402

事業名		学校給食食缶更新事業			担当部署	教育部 学校給食共同調理場				
根拠法令		学校給食法								
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価			
	予算・決算額(A)	12,114	11,804	15,980			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>			
	(A)の内訳	国道支出金	10,000	10,000				10,000		
		地方債								
		その他								
		一般財源	2,114	1,804				5,980		
	人件費(B)	715	715	715						
	事業費計(A+B)	12,829	12,519	16,695						
事業の目的		市内東地区および中央地区の小中学校（第1学校給食共同調理場から給食を配送する学校）を対象に、食缶を更新します。（旧：樹脂製、新：ステンレス製）								
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #f96; padding: 5px; margin-right: 10px;">                     12 つくる責任 つかう責任                 </div>  </div> <p>特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、市内東地区および中央地区の小中学校（第1学校給食共同調理場から給食を配送する学校）を対象に2か年の計画で食缶を更新します。</p>								
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
項目評価		高 → 低				評価の理由				
		4	3	2	1					
有効性		●				ステンレス製保温食缶の機能を十分に発揮し、児童生徒により安心して安全な学校給食を提供できたため、「4」としました。				
効率性		●				特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用することで、事業に要する一般財源を圧縮できたため、「4」としました。				
公平性		●				給食を喫食する児童生徒に広く安心して安全な学校給食を提供できたため、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性		令和6年度は主菜缶を更新し、当該事業は終了となります。					事業終了の 予定の有無  有 (令和6年度)			
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 04給食共同調理場費

事務事業番号 10010403

事業名		学校給食支援事業		担当部署	教育部 学校給食共同調理場					
根拠法令		学校給食法								
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価				
	予算・決算額(A)	129,700	127,560	-				<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>		
	(A)の内訳	国道支出金	124,000	124,000						
		地方債								
		その他								
		一般財源	5,700	3,560						
	人件費(B)	715	715	-						
	事業費計(A+B)	130,415	128,275	-						
事業の目的		エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯への経済的負担軽減のため、学校給食費を支援するものです。								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 小中学校における児童生徒（要保護、準要保護世帯除く）の学校給食費2か月分（令和5年6月分及び7月分）相当額及び食材価格の上昇分相当額を支援することにより、物価高騰による小中学生の保護者の負担軽減を図るとともに、これまでどおりの栄養バランスや量を保ち、充実した学校給食の維持・実現を図るものです。</p> <p>2 学校給食費を管理する苫小牧市学校給食会へ補助しました。</p>								
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度				
		給食費支援児童生徒数（延べ数）	人	21,820	-	-				
項目評価		高 → 低	評価の理由							
		4 3 2 1								
有効性		●				事業費の全額を支援に充てることができ、支援の効果が直接的に子育て世帯へ及びました。				
効率性		●				1団体（学校給食会）へ補助することで、事務経費を掛けずに小中学生の保護者に対する直接的な経済的支援及び食材購入費用に充てることができた。				
公平性		●				対象月の学校給食費において、小中学生の保護者の経済的負担がありませんでした。				
事業の課題 今後の方向性		国の交付金を活用した事業であるため、現時点で今後の予定はありません。				事業終了の 予定の有無				
						有 (令和5年度)				
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 04給食共同調理場費

事務事業番号 10010404

事業名		学校給食支援事業（第2回）		担当部署	教育部 学校給食共同調理場					
根拠法令		学校給食法								
予算・決算 （千円）	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価				
	予算・決算額(A)	202,631	201,927	-				<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</div>		
	(A)の内訳	国道支出金	127,296	127,296						
		地方債								
		その他								
		一般財源	75,335	74,631						
	人件費(B)	715	715	-						
事業費計(A+B)	203,346	202,642	-							
事業の目的		エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯への経済的負担軽減のため、学校給食費を支援するものです。								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 小中学校における児童生徒（要保護、準要保護世帯除く）の学校給食費4か月分（令和5年12月分から令和6年3月分まで）相当額を支援することにより、物価高騰による小中学生の保護者の負担軽減を図るものです。</p> <p>2 学校給食費を管理する苫小牧市学校給食会へ補助しました。</p>								
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
		給食費支援児童生徒数（延べ数）		人	43,220	-	-			
項目評価		高 → 低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性	●						事業費の全額を支援に充てることができ、支援の効果が直接的に子育て世帯へ及びました。	
		効率性	●						1団体（学校給食会）へ補助することで、事務経費を掛けずに小中学生の保護者に対する直接的な経済的支援及び食材購入費用に充てることができた。	
公平性	●				対象月の学校給食費において、小中学生の保護者の経済的負担がありませんでした。					
事業の課題 今後の方向性		国の交付金を活用した事業であるため、現時点で今後の予定はありません。				事業終了の 予定の有無  有 （令和5年度）				
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 05諸費

事務事業番号 10010501

事業名		教育施設整備基金積立金		担当部署	教育部 総務企画課									
根拠法令		苫小牧市教育施設整備基金条例												
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価							
	予算・決算額(A)	326,589	326,563	326,576			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>							
	(A)の内訳	国道支出金												
		地方債												
		その他	81	55				76						
		一般財源	326,508	326,508				326,500						
	人件費(B)	715	715	715										
	事業費計(A+B)	327,304	327,278	327,291										
事業の目的	本市における大学教育の振興並びに本市の学校教育及び社会教育等の推進を図るため設置した基金の積立金です。													
事業の内容 SDGs17の目標	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">令和4年度末基金残高</td> <td style="text-align: right;">623,481,113円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度基金積立金</td> <td style="text-align: right;">326,563,206円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度基金取崩し額</td> <td style="text-align: right;">390,180,833円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度末基金残高</td> <td style="text-align: right;">559,863,486円</td> </tr> </table>						令和4年度末基金残高	623,481,113円	令和5年度基金積立金	326,563,206円	令和5年度基金取崩し額	390,180,833円	令和5年度末基金残高	559,863,486円
令和4年度末基金残高	623,481,113円													
令和5年度基金積立金	326,563,206円													
令和5年度基金取崩し額	390,180,833円													
令和5年度末基金残高	559,863,486円													
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度								
	基金の年度末残高		千円	559,863	623,481	526,661								
項目評価	高 → 低				評価の理由									
	4	3	2	1										
	有効性	●							教育施設の整備・維持のための財源として活用しているため、「4」としました。					
	効率性	●							本基金の積み立てにより、今後必要となる教育施設の整備・維持のための効果が期待できることから、「4」としました。					
公平性	●				教育施設の整備・維持のために広く活用できていることから、「4」としました。									
事業の課題 今後の方向性	今後も、教育施設の整備・維持のための財源として活用するため、計画的に運用していきます。						事業終了の 予定の有無							
							無							
特記事項														

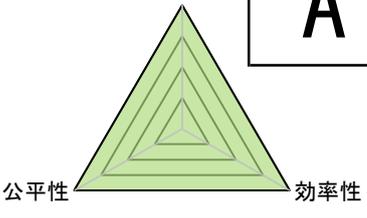
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 05諸費

事務事業番号 10010502

事業名		フッ化物洗口事業			担当部署	教育部 学校教育課		
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価  有効性  公平性  効率性 	総合評価  <b>A</b>		
	予算・決算額(A)	3,146	2,044	3,142				
	(A)の内訳							
	国道支出金	709	1,106	1,094				
	地方債							
	その他							
	一般財源	2,437	938	2,048				
	人件費(B)	715	715	715				
事業費計(A+B)	3,861	2,759	3,857					
事業の目的	小学生のう歯（むし歯）予防促進と生涯を通じた歯の健康づくりのため、市内小学校の保護者が希望する児童に対してフッ化物洗口を実施します。 また、う歯予防の推進と歯の健康づくりへの意識の高揚につながるものです。							
事業の内容  SDGs17の目標	  <p>平成24年度からモデル校で開始し、平成27年度からは全23小学校で実施しています。</p> <p>実施校においては、保護者が希望する児童が週1回程度、朝や昼の時間帯にフッ化物洗口液による1分間のぶくぶくうがいを行います。</p>							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度		
	実施率		%	91.25	92.20	0.00		
	う歯数（小学校平均）		本	0.26	0.32	0.32		
	12歳児う歯数		本	0.65	0.72	0.79		
項目評価	高 → 低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●				令和4年度と比較して、小学校平均及び12歳児う歯数が減少していることから、有効であると考えます。		
	効率性	●				希望者に対し、滞りなく事業を行うことができたことから、効率性が高いと考えます。		
公平性	●				希望する全児童に対し、事業を実施できていることから公平性が高いと考えます。			
事業の課題 今後の方向性	今後も希望する全児童を対象に事業を継続していきます。					事業終了の 予定の有無		
						無		
特記事項								

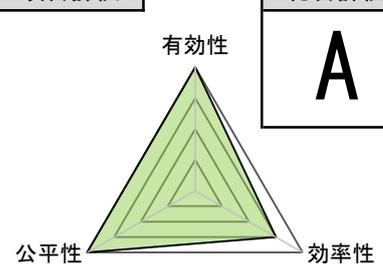
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 05諸費

事務事業番号 10010503

事業名		多子世帯給食費助成事業		担当部署	教育部 学校教育課		
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価 	総合評価 <b>A</b>	
	予算・決算額(A)	11,609	11,609	25,155			
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他	11,609	11,609			23,800
		一般財源					1,355
	人件費(B)	1,430	1,430	1,430			
	事業費計(A+B)	13,039	13,039	26,585			
事業の目的	人口減少対策の一環として、多子世帯の負担軽減を図るため、3人目以降の児童生徒の学校給食費を助成します。						
事業の内容 SDGs17の目標 	<p>市内に在住で、小中学校に在籍する児童生徒が3人以上いる世帯に対し、3人目以降の児童生徒の学校給食費を助成します。</p> <p>小学校 4,500円/月（1年生4月のみ3,380円） 中学校 5,250円/月</p>						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度	
	小中学校全児童生徒数（令和6年3月31日現在）		人	12,724	12,944	13,147	
	多子認定児童生徒数（生活保護・就学援助者を除く）		人	439	421	432	
	小中学校全児童生徒数に対する多子認定割合		%	3	3	3	
項目評価	高 → 低			評価の理由			
	4	3	2				1
	有効性	●			事業の目的のとおり、第3子以降の児童生徒の学校給食費の助成をしていることから、「4」としました。		
	効率性		●		人口減少対策の一環として実施している事業であり、将来にわたって効果が得られると考えられるため、「3」としました。		
公平性	●			小中学校に在籍する児童生徒が3人以上いる世帯すべてを対象として、平等に申請する機会を設けていることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性	引き続き事業を継続していきます。					事業終了の 予定の有無	
						無	
特記事項							

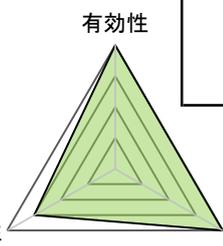
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 05諸費

事務事業番号 10010504

事業名		植苗中学校学校林整備事業		担当部署	教育部 学校教育課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価 <b>A</b>	
	予算・決算額(A)		485	372				-
	(A)の内訳	国道支出金	208	180				
		地方債						
		その他	275	192				
		一般財源	2					
	人件費(B)		72	72				-
事業費計(A+B)		557	444	-				
事業の目的		植苗中学校林は、昭和25年に設定され、学校や地域が長年にわたり森林教育や環境教育として関わってきた経過があります。この度伐採の時期に至り、水源涵養の機能を再生させることと併せて、学校林としての造林整備を行い、引き続き、学校林を通して、学校や地域における森林教育や環境教育を行います。						
事業の内容		SDGs17の目標  令和元年度 売払い 令和2年度 地拵 令和3年度 造林・下刈 令和4年度 下刈 令和5年度 下刈						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度		
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				学校林を通して、学校や地域における森林教育や環境教育を行いました。		
効率性		●				水源涵養の機能を再生させることに併せて、学校林としての造林整備ができました。		
公平性			●			市内では植苗中学校だけが学校林を所持しています。		
事業の課題 今後の方向性		令和3年度に造林した苗木が成長し、下刈り等は現状不要となり、造林・下刈を行う事業は令和5年度末をもって終了しました。					事業終了の 予定の有無	
							有 (令和5年度)	
特記事項								

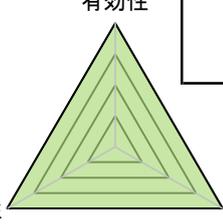
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 01教育総務費

目 05諸費

事務事業番号 10010505

事業名		学校教育活動継続支援事業		担当部署	教育部 総務企画課		
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価
	予算・決算額(A)	31,682	27,470	-			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>
	(A)の内訳						
	国道支出金	15,841	13,735				
	地方債						
	その他	200	200				
	一般財源	15,641	13,535				
	人件費(B)	2,860	2,860	-			
事業費計(A+B)	34,542	30,330	-				
事業の目的		<p>小中学校における教育活動継続に際して、密閉・密集・密接を回避し、児童生徒、教職員等の感染症対策に必要なとなる物品の購入等に係る経費を支援します。</p>					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <p>学校の教育活動継続に際して、児童生徒・教職員の感染症対策及び換気に伴う温湿度管理物品を購入しました。また、感染症対策に必要なとなる衛生用品等の物品を購入しました。</p>					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度	
		事業費（小学校）	千円	18,290	8,951	9,024	
		事業費（中学校）	千円	9,180	5,077	5,226	
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				小中学校における新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための換気対策用品のほかに、必要な衛生用品を整備することができたため、「4」としました。	
効率性		●				国の補助金を活用することにより、本市の費用負担を大きく低減することができたため、「4」としました。	
公平性		●				市内の全小中学校を対象に事業を実施できたため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		<p>補助金を活用し、市内全校に換気における温湿度管理用品として移動式クーラーを導入することができました。 新型コロナウイルスは5類へと移行しましたが、今後も、学校では感染症防止に対する換気対策を継続するため、効果的な利用となるよう情報共有を図ってまいります。</p>					<p>事業終了の 予定の有無</p> <p style="text-align: center;">有 (令和5年度)</p>
特記事項							

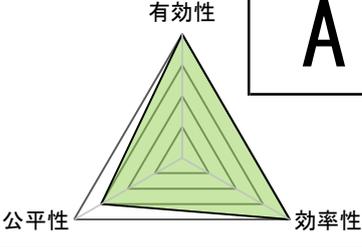
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 02小学校費

目 01学校管理費

事務事業番号 10020101

事業名		小学校校舎等改修			担当部署	教育部 施設課						
根拠法令												
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価 <b>A</b>					
	予算・決算額(A)		235,961	231,870				223,977				
	(A)の内訳	国道支出金	38,287	38,324				66,062				
		地方債	138,700	134,200				95,800				
		その他	39,100	39,100				42,700				
		一般財源	19,874	20,246				19,415				
	人件費(B)		2,860	2,860				2,860				
	事業費計(A+B)		238,821	234,730				226,837				
事業の目的		学校施設の適切な改修を実施します。										
事業の内容 SDGs17の目標 		<ol style="list-style-type: none"> <li>地域暖房の廃止に伴い、個別暖房化の改修工事を実施しました。 <ol style="list-style-type: none"> <li>日新小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>校舎暖房給湯設備改修工事</li> <li>屋内運動場暖房設備改修工事</li> <li>暖房給湯電気設備改修工事</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>老朽化した一部屋根の校舎屋根改修工事を実施しました。 <ol style="list-style-type: none"> <li>日新小学校 校舎屋根改修工事</li> <li>美園小学校 校舎屋根改修工事</li> </ol> </li> <li>老朽化した電気暖房機器の更新工事を実施しました。 <ol style="list-style-type: none"> <li>北星小学校 電気暖房改修工事</li> <li>糸井小学校 電気暖房改修工事</li> </ol> </li> <li>交付金を活用し、体育館舞台幕と暗幕を更新しました。 <ol style="list-style-type: none"> <li>勇払小学校 屋体ステージ幕及び暗幕更新</li> </ol> </li> <li>各小学校にある樹木の剪定及び伐採を行いました。</li> <li>各小学校の電気設備、暖房設備、消防設備等の改修を実施しました。</li> </ol>										
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度				
		バリアフリー化している小学校			校	9	9	9				
項目評価		高 → 低				評価の理由						
		4	3	2	1							
		有効性	●							改修により、安全性が高まり、教育環境の向上が図られたため、「4」としました。		
		効率性	●							交付金を活用しながら事業を実施していることから、「4」としました。		
公平性		●			各学校施設の老朽化状況を確認し、優先順位付けをしながら事業を実施していることから、「3」としました。							
事業の課題 今後の方向性		各学校施設の老朽状況は多岐にわたることから、これまで同様、優先度の把握に努め計画的な改修を実施します。					事業終了の 予定の有無  無					
特記事項		予算額・決算額については、小学校校舎等改修【繰越明許費】の事業費を含んでいます。										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 02小学校費

目 01学校管理費

事務事業番号 10020102

事業名		児童用机・椅子整備事業		担当部署	教育部 総務企画課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	2,532	2,101	16,474			B		
	(A)の内訳	国道支出金	1,000	1,000				10,000	
		地方債							
		その他	1,500	1,101					
		一般財源	32					6,474	
	人件費(B)	2,145	2,145	2,145					
	事業費計(A+B)	4,677	4,246	18,619					
事業の目的	市内小学校の老朽化した児童用机・椅子を更新します。								
事業の内容 SDGs17の目標	<p>特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、児童が使用する机・椅子の一部を更新しました。</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
	事業達成率		%	100	100	100			
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●						机・椅子の更新により教育環境の向上が図られ、また、児童の衣服の痛みも低下することから、「3」としました。	
	効率性	●						交付金を活用しながら事業を実施していることから、「3」としました。	
公平性	●			事業計画を策定し、新JIS規格の机・椅子の更新を行っていることから、「3」としました。					
事業の課題 今後の方向性	老朽化した机・椅子の更新により、児童が授業に集中するようになった等の声が聞かれ、教育環境の向上が図られたことから、高く評価できるものと考えています。今後も計画的に更新を続けていくことが重要と考えます。					事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

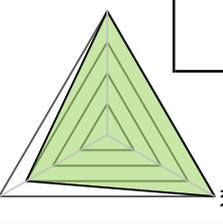
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 02小学校費

目 01学校管理費

事務事業番号 10020103

事業名		植苗小中学校スクールバス運行管理業務委託事業		担当部署	教育部 総務企画課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	9,832	8,846	10,795				
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源	9,832	8,846	10,795				
	人件費(B)	715	715	715				
事業費計(A+B)	10,547	9,561	11,510					
事業の目的		植苗小中学校のスクールバスについて、安定的な運行管理を維持するために、車両と運転手を民間事業者へ委託します。						
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>児童生徒の登下校時や、校外学習での送迎などに必要なスクールバスの運行を、令和元年度から令和5年度までの期間民間事業者へ委託しました。</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度		
		運行日数	日	204	205	202		
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				安定した児童生徒の送迎等を実施できているため、「4」としました。		
効率性		●				円滑な児童生徒の送迎等を実施できているため、「4」としました。		
公平性			●			通学区域が広範囲である植苗小中学校の児童生徒を対象としており、利用できる児童生徒に限られるため、「3」としました。		
事業の課題 今後の方向性		引き続きスクールバスの運行を委託し、円滑な児童生徒の送迎及び校外学習の実施を実現します。					事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項		令和6年度から令和11年度まで長期継続契約済み						

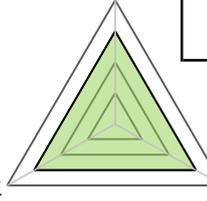
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 02小学校費

目 02教育振興費

事務事業番号 10020201

事業名		小学校図書館用図書整備		担当部署	教育部 学校教育課		
根拠法令		学校図書館法					
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価  有効性  公平性 効率性	総合評価  <b>B</b>	
	予算・決算額(A)	7,151	6,960	7,930			
	(A)の内訳	国道支出金	2,130	2,300			
		地方債					
		その他	5,000	4,660			
		一般財源	21				7,930
	人件費(B)	715	715	715			
	事業費計(A+B)	7,866	7,675	8,645			
事業の目的	各小学校の学校図書館の充実を図るため、図書館用図書を購入します。						
事業の内容 SDGs17の目標 	<p>各校の状況に応じて予算配分し、3,163冊の図書を購入しました。</p> <p>令和5年度は再編関連訓練移転等交付金2,300,000円を活用し、書架等も購入しました。</p>						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度	
	1校あたりの図書購入冊数(23校平均)		冊	138	238	238	
	1校あたり決算額(23校平均)		千円	303	584	529	
	小学校全体の蔵書達成率		%	93.2	96.1	96.8	
項目評価	高 → 低			評価の理由			
	4	3	2				1
	有効性		●			交付金を積極的に活用し、書架等の学校図書館の環境整備に努めましたが、全校に対して整備できているものではないため、「3」としました。	
	効率性		●			交付金を積極的に活用し、書架等の学校図書館の環境整備に努めましたが、全校に対して整備できているものではないため、「3」としました。	
公平性		●			各小学校の蔵書充足率に応じて予算配分を行い、各校蔵書の充実・図書館の利用促進に寄与しているため、「3」としました。		
事業の課題 今後の方向性	子どもたちの「生きる力」を育むため「学校図書館図書整備等5か年計画」の趣旨のもと、今後も事業を継続し、蔵書の充実を図ることで学校図書館の利用促進につなげます。					事業終了の 予定の有無	
						無	
特記事項							

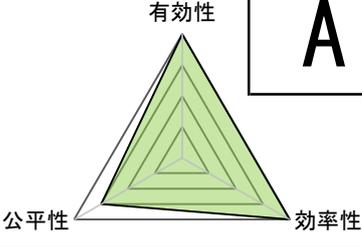
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 02小学校費

目 03学校建設費

事務事業番号 10020301

事業名		樽前小学校改築事業【継続事業】			担当部署	教育部 施設課		
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価  有効性  公平性 効率性	総合評価  <b>A</b>	
	予算・決算額(A)		864,851	673,188	1,081,646			
	(A)の内訳	国道支出金	125,107	118,571	203,038			
		地方債	692,500	517,000	735,200			
		その他	29,963	23,592	65,400			
		一般財源	17,281	14,025	78,008			
	人件費(B)		2,860	2,860	2,860			
	事業費計(A+B)		867,711	676,048	1,084,506			
事業の目的		樽前小学校校舎・屋内運動場の改築を実施します。						
事業の内容  SDGs17の目標  		1 新校舎の改築工事・新屋内運動場の改築工事に着手しました。 (1) 樽前小学校校舎改築工事 (2) 樽前小学校屋内運動場改築工事  2 既存校舎及び屋内運動場の解体工事に向けた実施設計を実施しました。 樽前小学校解体実施設計業務  3 新校舎及び屋内運動場改築のための用地整備を実施しました。 樽前小学校改築用地整備業務						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度
		バリアフリー化している小学校			校	9	9	9
項目評価		高 → 低 4 3 2 1				評価の理由		
有効性		●				本事業の実施により児童等の安全性の確保及び教育環境の向上が図られることから、「4」としました。		
効率性		●				交付金を活用しながら事業を実施していることから、「4」としました。		
公平性			●			苫小牧市小・中学校施設整備計画に基づき事業を実施していることから、「3」としました。		
事業の課題 今後の方向性		学校敷地内での工事となることから、教育環境への影響を最小限に留めるとともに、安全を確保しながら、計画的に事業を推進していきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無  有 (令和7年度)	
特記事項		予算額・決算額については、樽前小学校改築事業【継続費通次繰越】【繰越明許費】の事業費を含んでいます。						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 02小学校費

目 03学校建設費

事務事業番号 10020302

事業名		ウトナイ小学校校舎増築事業【継続事業】			担当部署	教育部 施設課			
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分		R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価		
	予算・決算額(A)		518,392	499,085	24,619				A
	(A)の内訳	国道支出金	159,832	156,784					
		地方債	287,000	264,700	20,000				
		その他	5,400	3,985					
		一般財源	66,160	73,616	4,619				
	人件費(B)		2,860	2,860	2,860				
	事業費計(A+B)		521,252	501,945	27,479				
事業の目的		苦小牧市立ウトナイ小学校の校舎を増築します。							
事業の内容 SDGs17の目標		<ol style="list-style-type: none"> <li>校舎の増築工事を実施しました。 ウトナイ小学校校舎増築工事</li> <li>増築校舎で必要とする物品等の調達を実施しました。 ウトナイ小学校増築校舎初度調弁</li> <li>増築校舎の建設予定地にあった教材園の移設を実施しました。 ウトナイ小学校教材園撤去及び造成工事</li> <li>増築校舎の建設予定地にあった物置の移設を実施しました。 ウトナイ小学校物置移設業務</li> </ol>							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度	
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●				本事業の実施により児童生徒等の安全性の確保及び教育環境の向上が図られることから、「4」としました。			
効率性		●				交付金等を活用しながら事業を実施していることから、「4」としました。			
公平性			●			苦小牧市小・中学校施設整備計画に基づき事業を実施していることから、「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性		引き続き学校敷地内での工事となることから、教育環境への影響を最小限に留めるとともに、安全を確保しながら、計画的に事業を推進していきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無		
							有 (令和6年度)		
特記事項		予算額・決算額については、ウトナイ小学校校舎増築事業【継続費通次繰越】【繰越明許費】の事業費を含んでいます。							

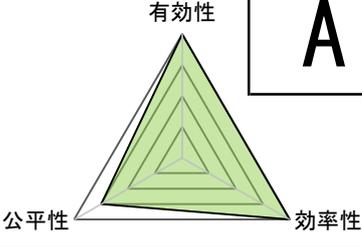
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 02小学校費

目 03学校建設費

事務事業番号 10020303

事業名		大成小学校改築事業			担当部署	教育部 施設課	
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価 	総合評価 <b>A</b>	
	予算・決算額(A)	30,525	29,700	102,570			
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					70,600
		その他	30,500	29,700			25,800
		一般財源	25				6,170
	人件費(B)	2,860	2,860	2,860			
	事業費計(A+B)	33,385	32,560	105,430			
事業の目的	苦小牧市立大成小学校の改築を実施します。						
事業の内容 SDGs17の目標 	改築に向けた基本設計を実施しました。 大成小学校改築基本設計業務						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度	
	バリアフリー化している小学校		校	9	9	9	
項目評価	高 → 低		評価の理由				
	4	3	2	1			
	有効性	●			本事業の実施により児童生徒等の安全性の確保及び教育環境の向上が図られることから、「4」としました。		
	効率性	●			交付金等を活用しながら事業を実施していることから、「4」としました。		
公平性		●		苦小牧市小・中学校施設整備計画に基づき事業を実施していることから、「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性	今後は学校敷地内での工事となることから、教育環境への影響を最小限に留めるとともに、安全を確保しながら、計画的に事業を推進していきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無	
						有 (令和10年度)	
特記事項							

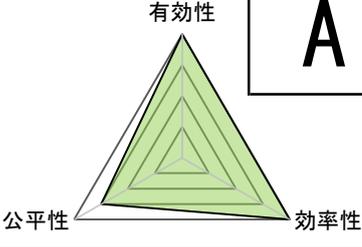
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 02小学校費

目 03学校建設費

事務事業番号 10020304

事業名		沼ノ端小学校大規模改修事業【継続事業】			担当部署	教育部 施設課							
根拠法令													
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価	A					
	予算・決算額(A)	256,358	214,479	647,062									
	(A)の内訳	国道支出金	56,714	53,793					148,434				
		地方債	198,500	111,800					447,400				
		その他											
		一般財源	1,144	48,886					51,228				
	人件費(B)	2,860	2,860	2,860									
	事業費計(A+B)	259,218	217,339	649,922									
事業の目的		沼ノ端小学校の校舎及び屋内運動場の大規模改修を実施します。											
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>校舎及び屋内運動場の大規模改修工事を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 沼ノ端小学校 大規模改修主体工事</li> <li>2 沼ノ端小学校 大規模改修機械設備工事</li> <li>3 沼ノ端小学校 大規模改修電気設備工事</li> <li>4 沼ノ端小学校 機械警備移設工事</li> <li>5 沼ノ端小学校 物置撤去解体工事</li> </ol>											
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度					
項目評価		高 → 低				評価の理由							
		4	3	2	1								
有効性		●								本事業の実施により児童等の安全性の確保及び教育環境の向上が図られることから、「4」としました。			
効率性		●								交付金を活用しながら事業を実施していることから、「4」としました。			
公平性			●			苫小牧市小・中学校施設整備計画に基づき事業を実施していることから、「3」としました。							
事業の課題 今後の方向性		引き続き学校敷地内での工事となることから、教育環境への影響を最小限に留めるとともに、安全を確保しながら、計画的に事業を推進していきたいと考えています。						事業終了の 予定の有無					
								有 (令和6年度)					
特記事項		予算額・決算額については、沼ノ端小学校大規模改修事業【継続費逓次繰越】【繰越明許費】の事業費を含んでいます。											

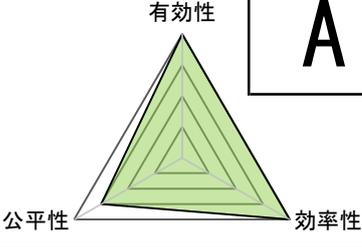
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 02小学校費

目 03学校建設費

事務事業番号 10020305

事業名		植苗小中学校大規模改修事業			担当部署	教育部 施設課		
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価 <b>A</b>	
	予算・決算額(A)	20,290	19,195	319,235				
	(A)の内訳	国道支出金						91,164
		地方債	13,200	12,600				184,800
		その他	7,000	6,595				43,200
		一般財源	90					71
	人件費(B)	2,860	2,860	2,860				
	事業費計(A+B)	23,150	22,055	322,095				
事業の目的		植苗小中学校の校舎及び屋内運動場の大規模改修を実施します。						
事業の内容 SDGs17の目標 		大規模改修に向けた実施設計及び調査業務を実施しました。 1 植苗小中学校 大規模改修実施設計業務 2 植苗小中学校 アスベスト含有事前調査業務						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度		
		バリアフリー化している小学校	校	9	9	9		
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				本事業の実施により児童生徒等の安全性の確保及び教育環境の向上が図られることから、「4」としました。		
効率性		●				交付金を活用しながら事業を実施していることから、「4」としました。		
公平性			●			苫小牧市小・中学校施設整備計画に基づき事業を実施していることから、「3」としました。		
事業の課題 今後の方向性		今後は、学校敷地内での工事となることから、教育環境への影響を最小限に留めるとともに、安全を確保しながら、計画的に事業を推進していきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無  有 (令和7年度)	
特記事項								

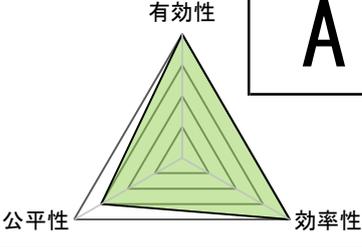
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 03中学校費

目 01学校管理費

事務事業番号 10030101

事業名		中学校校舎等改修		担当部署	教育部 施設課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価 	総合評価 <b>A</b>			
	予算・決算額(A)	35,274	34,578	106,513					
	(A)の内訳	国道支出金					32,565		
		地方債					42,100		
		その他	23,900	23,900			24,600		
		一般財源	11,374	10,678			7,248		
	人件費(B)	2,860	2,860	2,860					
	事業費計(A+B)	38,134	37,438	109,373					
事業の目的	学校施設の適切な改修を実施します。								
事業の内容 SDGs17の目標 	<ol style="list-style-type: none"> <li>各中学校にある樹木の剪定及び伐採を行いました。</li> <li>各中学校の電気設備、暖房設備、建築建具等の改修を実施しました。</li> </ol>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
	バリアフリー化している中学校		校	6	6	6			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性	●							改修により、安全性が高まり、教育環境の向上が図られたため、「4」としました。
	効率性	●							交付金を活用しながら事業を実施していることから、「4」としました。
公平性		●			各学校施設の老朽化状況を確認し、優先順位付けをしながら事業を実施していることから、「3」としました。				
事業の課題 今後の方向性	各学校施設の老朽状況は多岐にわたることから、これまで同様、優先度の把握に努め計画的な改修を実施します。					事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項	予算額・決算額については、中学校校舎等改修【繰越明許費】の事業費を含んでいます。								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 03中学校費

目 01学校管理費

事務事業番号 10030102

事業名		生徒用机・椅子整備事業		担当部署	教育部 総務企画課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	4,984	4,265	-			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div>	
	(A)の内訳							
	国道支出金	2,000	2,000					
	地方債							
	その他	2,900	2,265					
	一般財源	84						
	人件費(B)	2,145	2,145	-				
事業費計(A+B)	7,129	6,410	-					
事業の目的	市内中学校の老朽化した生徒用机・椅子を更新します。							
事業の内容 SDGs17の目標	<p>特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、生徒が使用する机・椅子の一部を更新しました。</p>							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度		
	事業達成率		%	100	100	100		
項目評価	高 → 低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●						机・椅子の更新により教育環境の向上が図られ、また、生徒の衣服の痛みも低下することから、「3」としました。
	効率性		●					交付金を活用しながら事業を実施していることから、「3」としました。
公平性			●		事業計画を策定し、新JIS規格の机・椅子の更新を行っていることから、「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性	老朽化した机・椅子の更新により、生徒が授業に集中するようになった等の声が聞かれ、教育環境の向上が図られたことから、高く評価できるものと考えています。今後も計画的に更新を続けていくことが重要と考えます。						事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 03中学校費

目 01学校管理費

事務事業番号 10030103

事業名		部活動指導員配置事業		担当部署		教育部 学校教育課			
根拠法令		学校教育法施行規則							
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	8,213	5,302	11,498			B		
	(A)の内訳	国道支出金	5,474	3,271				7,664	
		地方債							
		その他							
		一般財源	2,739	2,031				3,834	
	人件費(B)	2,145	2,145	2,145					
事業費計(A+B)	10,358	7,447	13,643						
事業の目的	中学校における部活動において、専門的な知識や技能を有する部活動指導員（以下「指導員」という。）を配置することで、指導体制の充実を図り、部活動を担当する教職員の時間外勤務時間の削減や精神的な負担軽減を目的として実施します。								
事業の内容	SDGs17の目標  令和5年度は部活動指導員を11名配置しました。 [内訳] ・アイスホッケー部4名～勇弘中学校、和光中学校、緑陵中学校、ウトナイ中学校 ・バドミントン部1名～開成中学校 ・バスケットボール部1名～開成中学校 ・バレーボール部1名～光洋中学校 ・陸上部1名～青翔中学校・ウトナイ中学校（※合同部活動） ・ソフトテニス部1名～啓北中学校 ・吹奏楽部2名～苫小牧東中学校、啓北中学校								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
	指導員一人当たりの活動時数（指導・引率等）		時間	273	284	129			
項目評価	高 → 低		評価の理由						
	4	3	2	1					
	有効性	●			配置校の教職員の時間外勤務時間（45時間超/月）は、前年度と比較して運動部18.6%、文化部33.3%減少しており、教職員の業務負担軽減に一定の効果を示していることから、「3」としました。				
	効率性	●			国及び道の補助金を活用しており、専門性を有する指導者の下で充実した部活動が展開出来ていることから、「3」としました。				
公平性		●		配置できる学校数に限りがあることや、種目による指導員のマッチングが図れた学校から優先的に配置していることから、「2」としました。					
事業の課題 今後の方向性	部活動指導員の人的確保や求められる種目とのマッチングの課題はありますが、今後も事業を継続し、教員業務の負担軽減を図ります。 また、部活動の地域移行を推進するため、部活動指導員を有効に活用していく必要があります。						事業終了の 予定の有無  無		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 03中学校費

目 01学校管理費

事務事業番号 10030104

事業名		防音機能復旧事業【繰越明許】		担当部署	教育部 施設課		
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価  有効性  公平性  効率性	総合評価  <b>A</b>	
	予算・決算額(A)	83,693	80,723	-			
	(A)の内訳	国道支出金	44,349	46,072			
		地方債	34,600	25,900			
		その他					
		一般財源	4,744	8,751			
	人件費(B)	1,430	1,430	-			
	事業費計(A+B)	85,123	82,153	-			
事業の目的	学校施設の適切な改修を実施します。						
事業の内容 SDGs17の目標 	<p>勇払中学校の校舎及び講堂の空調機器の更新を実施する事業です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 勇払中学校 校舎防音機能復旧工事</li> <li>2 勇払中学校 校舎防音機能復旧電気設備工事</li> <li>3 勇払中学校 講堂防音機能復旧工事</li> <li>4 勇払中学校 講堂防音機能復旧電気設備工事</li> </ol>						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度	
項目評価	高 → 低 4 3 2 1			評価の理由			
有効性	●				本事業の実施により、生徒等の教育環境の向上が図られることから、「4」としました。		
効率性	●				交付金を活用しながら事業を実施していることから、「4」としました。		
公平性		●			各学校施設の老朽化状況を確認し、優先順位付けをしながら事業を実施していることから、「3」としました。		
事業の課題 今後の方向性	各学校施設の老朽状況は多岐にわたることから、これまで同様、優先度の把握に努め計画的な改修を実施します。					事業終了の 予定の有無	
						無	
特記事項	本事業は、半導体不足の影響により工期が一年延びています。						

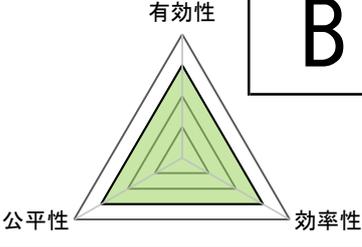
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 03中学校費

目 02教育振興費

事務事業番号 10030201

事業名		中学校図書館用図書整備		担当部署	教育部 学校教育課				
根拠法令		学校図書館法							
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	4,946	4,710	8,290				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">B</div>	
	(A)の内訳	国道支出金	2,270	2,100					
		地方債							
		その他	2,600	2,600					
		一般財源	76	10					8,290
	人件費(B)	715	715	715					
事業費計(A+B)	5,661	5,425	9,005						
事業の目的	各中学校の学校図書館の充実を図るため、図書館用図書を購入します。								
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>各校の状況に応じて予算配分し、1,363冊の図書を購入しました。 令和5年度は再編関連訓練移転等交付金2,100,000円を活用し、書架等も購入しました。</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
	1校あたりの図書購入冊数(15校平均)		冊	91	380	231			
	1校あたり決算額(15校平均)		千円	314	696	718			
	中学校全体の蔵書達成率		%	91.1	95.8	95.0			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性		●			交付金を積極的に活用し、書架等の学校図書館の環境整備に努めましたが、全校に対して整備できているものではないため、「3」としました。			
	効率性		●			交付金等を積極的に活用し、書架等の学校図書館の環境整備に努めましたが、全校に対して整備できているものではないため、「3」としました。			
公平性		●			各中学校の蔵書充足率に応じて予算配分を行い、各校蔵書の充実・図書館の利用促進に寄与しているため、「3」としました。				
事業の課題 今後の方向性	子どもたちの「生きる力」を育むため「学校図書館図書整備等5か年計画」の趣旨のもと、今後も事業を継続し、蔵書の充実を図ることで学校図書館の利用促進につなげます。					事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 03中学校費

目 03学校建設費

事務事業番号 10030301

事業名		明野中学校外部改修事業		担当部署	教育部 施設課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	142,628	141,571	-				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金	44,823	46,140					
		地方債	97,100	93,100					
		その他							
		一般財源	705	2,331					
	人件費(B)	1,430	1,430	-					
	事業費計(A+B)	144,058	143,001	-					
事業の目的	明野中学校の校舎及び屋内運動場の外部改修を実施します。								
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>1 校舎及び屋内運動場の屋根及び外壁の改修を実施しました。                      (1) 明野中学校 校舎及び屋内運動場外部改修主体工事                      (2) 明野中学校 校舎及び屋内運動場外部改修電気設備工事</p> <p>2 外部改修工事を円滑に実施するため、支障となるものの撤去を実施しました。                      (1) 明野中学校 駐輪場撤去工事</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
有効性	●						本事業の実施により児童生徒等の安全性の確保及び教育環境の向上が図られることから、「4」としました。		
効率性	●						交付金を活用しながら事業を実施していることから、「4」としました。		
公平性		●			苦小牧市小・中学校施設整備計画に基づき事業を実施していることから、「3」としました。				
事業の課題 今後の方向性	事業の実施により生徒等の安全確保及び教育環境の向上が図られました。					事業終了の 予定の有無  有 (令和5年度)			
特記事項	予算額・決算額については、明野中学校外部改修事業【繰越明許費】の事業費を含んでいません。								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 03中学校費

目 03学校建設費

事務事業番号 10030302

事業名		啓明中学校外部等改修事業		担当部署	教育部 施設課			
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価		
	予算・決算額(A)	10,439	9,504	-				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>
	(A)の内訳							
	国道支出金							
	地方債	5,600	5,100					
	その他	4,800	4,404					
	一般財源	39						
人件費(B)	1,430	1,430	-					
事業費計(A+B)	11,869	10,934	-					
事業の目的	啓明中学校の校舎及び屋内運動場の外部改修を実施します。							
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>外部改修に向けた実施設計及び調査業務を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>啓明中学校 校舎及び屋内運動場外部等改修実施設計業務</li> <li>啓明中学校 アスベスト含有事前調査業務</li> </ol>							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度		
	バリアフリー化している中学校		校	6	6	6		
項目評価	高 → 低		評価の理由					
	4	3	2	1				
	有効性	●			本事業の実施により生徒等の安全性の確保及び教育環境の向上が図られることから、「4」としました。			
	効率性	●			交付金を活用しながら事業を実施していることから、「4」としました。			
公平性		●		苫小牧市小・中学校施設整備計画に基づき事業を実施していることから、「3」としました。				
事業の課題 今後の方向性	<p>今後は、学校敷地内での工事となることから、教育環境への影響を最小限に留めるとともに、安全を確保しながら、計画的に事業を推進していきたいと考えています。</p>					事業終了の 予定の有無		
						有 (令和7年度)		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 03中学校費

目 03学校建設費

事務事業番号 10030303

事業名		開成中学校外部改修事業【繰越明許】			担当部署	教育部 施設課				
根拠法令										
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価			
	予算・決算額(A)	170,654	169,576	-			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>			
	(A)の内訳									
	国道支出金	54,578	55,886							
	地方債	115,700	110,700							
	その他									
	一般財源	376	2,990							
	人件費(B)	1,430	1,430	-						
事業費計(A+B)	172,084	171,006	-							
事業の目的		開成中学校の校舎及び屋内運動場の外部改修を実施します。								
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>校舎及び屋内運動場の屋根及び外壁の改修を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開成中学校 校舎外部改修工事</li> <li>2 開成中学校 屋内運動場外部改修工事</li> </ol>								
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
項目評価		高 → 低			評価の理由					
		4	3	2	1					
有効性	●					本事業の実施により児童生徒等の安全性の確保及び教育環境の向上が図られることから、「4」としました。				
効率性	●					交付金を活用しながら事業を実施していることから、「4」としました。				
公平性		●				苫小牧市小・中学校施設整備計画に基づき事業を実施していることから、「3」としました。				
事業の課題 今後の方向性		事業の実施により生徒等の安全確保及び教育環境の向上が図られました。					事業終了の 予定の有無			
							有 (令和5年度)			
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 04社会教育費

目 01社会教育総務費

事務事業番号 10040101

事業名		文化芸術振興計画事業		担当部署	教育部 生涯学習課				
根拠法令		苫小牧市民文化芸術振興条例							
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	15,619	10,516	15,963				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	6,130	5,242					6,130
		一般財源	9,489	5,274					9,833
	人件費(B)	25,322	25,322	25,322					
事業費計(A+B)	40,941	35,838	41,285						
事業の目的	「苫小牧市民文化芸術振興条例」及び「苫小牧市民文化芸術振興推進計画」に基づき、文化の薫り高く潤いのあるまちづくりを目指し、文化芸術振興に係る事業を実施し、すべての市民が平等に優れた文化芸術に触れる機会の確保、文化芸術の創造、発展を図ります。								
事業の内容 SDGs17の目標	<p>1 苫小牧市民文化芸術振興助成事業 市内で実施された音楽の演奏会、作品展示、絵画展などの16事業に助成しました。</p> <p>2 高等学校文化活動遠征費補助事業 文化活動で北海道代表として全国大会に出場した市内高校の遠征費、2件を助成しました。</p> <p>3 苫小牧アートフェスティバル補助事業 市民参加型事業として、苫小牧アートフェスティバル2023を開催しました。（来場者数：延べ約10,600人）</p> <p>4 苫小牧音楽祭補助事業 あらゆる世代の市民が、音楽を通じて心を豊かに、そして明日への活力となるよう質の高い音楽を鑑賞、また、誰もが気軽に音楽に触れあえる機会のため、以下の事業を実施しました。</p> <p>(1) PMF苫小牧公演（入場者数：701人 市民会館）</p> <p>(2) Stand up TOMAKOMAI事業として、ｽｰﾗｼﾞｱﾝﾌﾟﾗｽ「音楽の絵本～Brillante～」 （入場者数：684人 市民会館）</p> <p>(3) TOMACON（参加団体数：23団体 参加者数：1,724人 出光カルチャーパーク）</p> <p>(4) TOMAKOMAI MUSIC Academy（支援対象：2団体）</p> <p>(5) ジュニアミュージッククリニック（参加者数：吹奏楽121人、合唱36人 文化交流センター）</p> <p>5 芝居公演「カラオケマン最後のロマンス」苫小牧公演（入場者数：340人 文化会館）</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
	文化芸術振興助成件数		件	16	16	10			
	市主催文化芸術鑑賞事業実施数		件	5	5	0			
	市主催鑑賞型事業入場率		%	55.0	53.7	0			
項目評価	高 → 低		評価の理由						
	4	3	2	1					
有効性	●				本事業は「文化の薫り高く潤いのあるまちづくり」の推進に寄与しており、市民の文化芸術活動への補助を実施するとともに、各種鑑賞事業の入場率が前年より増えたことから、「4」としました。				
効率性	●				市からの補助金だけでなく他の補助金や協賛金などを活用して事業を実施するなど、経費削減を実現できたことから、「4」としました。				
公平性		●			すべての市民が文化芸術に触れるよう、子どもから大人まで幅広く事業を実施、開催に向け広く情報発信していたことから、「3」としました。				
事業の課題 今後の方向性	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、前年度よりも参加者数が増えた事業が多かったことから、概ね目的通り実施できたものと考えます。引き続き市民の文化芸術活動に対する支援と鑑賞機会などの充実に努め、市民が文化芸術を身近に感じられる環境づくりに努めます。					事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 04社会教育費

目 01社会教育総務費

事務事業番号 10040102

事業名		苫小牧市史編集事業		担当部署	教育部 市史編集事務局				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	1,350	737	1,179				<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	1,350	737					1,179
	人件費(B)	17,043	17,043	17,043					
事業費計(A+B)	18,393	17,780	18,222						
事業の目的		<p>これまでの苫小牧の成り立ちや市政・町政と住民の生活、まちの発展の歴史的事実を記録し、今後のまちづくりや歴史教育に役立てるため、「新市史」として纏めて後世に遺すことを目的とします。</p>							
事業の内容 SDGs17の目標		<p>平成30年4月に市史編さんの取組を開始し、「新苫小牧市史」を発刊することとなりました。</p> <p>【「新苫小牧市史」の概要】 先史時代から現代まで捕捉し、本市の歴史について分かり易く子供から大人まで対応できる概略を主とした内容で、1冊（1,200頁程度）に纏めるとともに、これまでの歴史の見解の修正を含め作成する計画です。</p> <p>※コロナ禍の影響により当初計画していた令和5年度の刊行が極めて難しい状況となりました。そのため、令和10年度に刊行するようスケジュールの見直しを行い、資料収集等を行いました。</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度			
		苫小牧市史編さん審議会	回	0	1	0			
		資料収集聞き取り	回	7	7	8			
項目評価		高 → 低	評価の理由						
		4 3 2 1							
有効性		●				苫小牧市の成り立ちや市政・町政と住民の生活、まちの発展の歴史的事実を記録し、今後のまちづくりや歴史教育に資することから、「4」としました。			
効率性				●		当初の計画から大幅に遅延していることから、「2」としました。			
公平性		●				「新苫小牧市史」は、可能な限り平易な文章で記述し、子どもから大人まで広く市民に親しまれ、分かりやすいものを目指していることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		<p>平成13年度を最後に市史に関する事業の継続を行ってこなかったため手探りの状態で業務を行っています。新たに発見された事象や時代の流れとともに変化してきたことを、今後のまちづくりにつなげるためにも歴史の編さんは重要であり、継続して業務を遂行する必要がありますが、コロナ禍の影響を受け、業務が大幅に遅延していることからスケジュールの再構築を含めて協議中です。</p>				事業終了の 予定の有無  有 (令和10年度)			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 04社会教育費

目 01社会教育総務費

事務事業番号 10040103

事業名		文化財保護保存事業		担当部署	教育部 生涯学習課				
根拠法令		苫小牧市文化財保護条例							
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	515	512	154				B	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	515	512					154
	人件費(B)	0	0	0					
事業費計(A+B)	515	512	154						
事業の目的		文化の発展を理解する上で欠かせない歴史的な財産を保護、保存及び普及啓発を図り、市民が郷土の文化財について知り、興味、理解を深めることを目的としています。							
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>1 文化財発見ツアー                      目的：市内外文化財を市民に紹介し、文化財への興味や理解を深めることを目的に平成21年度から実施しています。                      開催日時：令和5年11月4日（土）9：30～16：00                      訪問箇所：静川遺跡、蝦夷地開拓移住隊士の墓、勇武津資料館、北大苫小牧研究林森林記念館                      参加者：34人</p> <p>2 文化財スタンプラリー                      目的：市内にある国・道・市指定の文化財に市民が直接足を運ぶ機会とし、文化財に対する興味や関心を高めることを目的に令和4年度初開催しています。                      実施期間：令和5年11月13日（月）～令和5年12月8日（金）                      訪問箇所：静川遺跡、開拓使三角測量勇払基点、林重右衛門墓碑、植苗貝塚、明治天皇行幸跡 御前水石碑・御書行在所石碑・御小休所石碑（柳町・宮前町）、苫小牧市美術博物館静川遺跡展示スペース                      参加者：3人</p> <p>3 「とまこまいの文化財」の冊子改定                      タブコブ遺跡出土の遺物を新たに市指定文化財に指定したことなどを踏まえ、改訂版を作成しました。</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度		
		文化財発見ツアー参加者数		人	34	27	27		
		文化財スタンプラリー参加者数		人	3	14	-		
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性			●			本事業の各取組については、それぞれが事業目的に寄与しており、継続していくことで効果が得られるものであることから、「3」としました。			
効率性				●		発見ツアーは、参加者も多く、イベントとしても浸透しつつありますが、スタンプラリーについては、昨年より参加者が減少し、文化財へ直接足を運ぶ機会として効果が低かったと判断し、「2」としました。			
公平性			●			発見ツアーは、先着順としていますが、広報、周知ビラ、HPにて市民周知を行うとともに、訪問場所も毎年変更して実施しています。スタンプラリーについては、参加しやすさを前提に、発見ツアーと同様の周知をしていることから、「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性		文化財発見ツアーは、早くから満席になるなど、人気のあるイベントとなっていることから、継続していきたいと考えます。 文化財スタンプラリーについては、実績をふまえ、考え方や方法も含め検討する必要がありますが、今後も文化財の活用と広報の充実に努めていきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

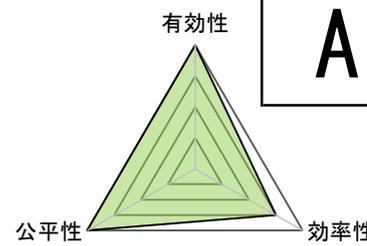
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 04社会教育費

目 01社会教育総務費

事務事業番号 10040104

事業名		生涯学習推進計画事業		担当部署	教育部 生涯学習課		
根拠法令							
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価 	総合評価 <b>A</b>	
	予算・決算額(A)	4,058	3,408	6,524			
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他	3,228	2,794			4,600
		一般財源	830	614			1,924
	人件費(B)	10,667	10,667	10,667			
	事業費計(A+B)	14,725	14,075	17,191			
事業の目的		苫小牧市生涯学習推進基本計画に基づき、市民の生涯学習を推進する事業を実施しました。					
事業の内容 SDGs17の目標  		<ol style="list-style-type: none"> <li>障がい者IT学習支援事業 内容：視覚障がい・肢体不自由の2教室を、障がい者パソコンボランティア友の会とのパートナーシップ協定を締結し実施しました。また、ボランティア活動を知ってもらうために高校生以上の方を対象とした体験講習会を開催しました。</li> <li>ナナカマド教室事業 内容：様々な理由により学齢期に就学することができなかった方などを対象に、「学びなおしの機会」として学習の場を提供しました。</li> <li>アウトリーチ推進事業 内容：市内の小中学校や地域コミュニティ団体などに、市内在住者でプロ・アマを問わず活躍している方々を派遣し、あらゆるジャンルに直接触れてもらう体験プログラムを実施しました。</li> <li>赤ちゃん、絵本のとびら事業 内容：苫小牧に住所を有する0歳児及びその保護者を対象に、絵本2冊と絵本ガイドが入った「赤ちゃん、絵本のとびらパック」をプレゼントしました。</li> <li>セカンドブック事業「いちねんせいへ、こころのたからばこ」 内容：小学校の新1年生を対象に、本1冊とおすすめ本ガイドを贈り、自発的な読書活動と家族などとのコミュニケーションを育むことを目的とし実施しました。</li> </ol>					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度	
		【障がい者IT学習支援事業】受講者数（延べ）	人	124	131	113	
		【ナナカマド教室】受講者数	人	17	16	12	
		アウトリーチ推進事業実施件数	件	34	29	27	
項目評価		高 → 低 4 3 2 1	評価の理由				
有効性		●				本事業の各取組は、それぞれの目的に寄与しており継続することでより効果が得られることもあることから、「4」としました。	
効率性			●			本事業の各取組は、事業を支援する団体と提携するなどして必要最低限の経費で展開していることから、「3」としました。	
公平性		●				本事業の各取組について、対象者や関係施設等へのPRに努め、平等に機会を確保していることから、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		<p>本事業の各取組は、継続して行うことにより市民のライフステージに応じた学習環境を充実させ、生涯学習の推進に寄与していると考えます。                  今後は、多様化する学習ニーズに対応するため取組の継続とともにさらなる内容の充実、新規参加者の獲得に努めてまいります。</p>				事業終了の 予定の有無  無	
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 04社会教育費

目 01社会教育総務費

事務事業番号 10040105

事業名		市民文化芸術振興基金積立金		担当部署	教育部 生涯学習課				
根拠法令		苫小牧市民文化芸術振興基金条例							
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	2,135	2,135	-			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>		
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	2,135	2,135					
		一般財源							
	人件費(B)	72	72	-					
事業費計(A+B)	2,207	2,207	-						
事業の目的	苫小牧市民文化芸術振興基金への指定寄附金を積み立てます。								
事業の内容 SDGs17の目標 	<p>令和4年度末基金残高 80,890,087円</p> <p>令和5年度基金積立金 2,134,657円</p> <p>令和5年度基金取崩し額 10,319,489円</p> <p>令和5年度末基金残高 72,705,255円</p> <p>※積立金内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度繰越分 6,808円</li> <li>・文化芸術助成事業会場での募金(14件) 51,647円</li> <li>・文化芸術助成事業会場以外での募金(2件) 63,119円</li> <li>・文化芸術振興基金への寄附(1件) 10,000円</li> <li>・土地売払収入(文化芸術振興に係る指定寄附分) 2,003,083円</li> </ul>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
	基金の年度末残高		千円	72,705	80,890	89,609			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2					1	
	有効性	●				市民が行う文化芸術活動に対する助成への充当など有効に活用されていることから、「4」としました。			
	効率性		●			基金を活用することで、将来にわたり文化芸術振興に効果が得られると考えるため、「3」としました。			
公平性	●				本事業は、文化芸術イベントや市民の文化活動に対する助成などに充当しており、広く市民に広報活動を行ったことから「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	市民文化芸術振興計画に基づいた様々な取組を着実に進めるためには、今後も基金を活用する必要がありますが、基金取り崩し額が基金積立額を上回っていることから、これまで以上の基金積立強化に努める必要があります。					事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 04社会教育費

目 02社会教育施設費

事務事業番号 10040201

事業名		中央図書館コンピュータシステム事業		担当部署	教育部 生涯学習課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	5,921	5,865	2,222			A		
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	5,900	5,865					
		一般財源	21					2,222	
	人件費(B)	3,576	3,576	3,576					
	事業費計(A+B)	9,497	9,441	5,798					
事業の目的		中央図書館及び図書コーナー8館（のぞみコミセン、豊川コミセン、住吉コミセン、沼ノ端コミセン、勇払公民館、植苗ファミセン、沼ノ端交流センター、東開文化交流サロン）で貸出サービス等を行うための図書館システム等の賃借料です。							
事業の内容 SDGs17の目標		<p>年間約16万人の利用者への貸出サービス等をスムーズに行い、また約57万冊の資料データや利用者データを適切に管理するために必要な機能を備えたシステムです。 主に、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館資料の貸出、返却、資料検索及び利用者データの登録</li> <li>・登録データの管理・保存</li> <li>・インターネットを利用した資料の検索・予約サービス</li> <li>・総務省通達の自治体セキュリティ強化対策に基づくネットワーク強靱化に係る対応を行っています。</li> </ul>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性	●					図書館資料の貸出、返却、予約サービス、蔵書管理等といった図書館の基本的なサービスを行う上で必要不可欠であることから、「4」としました。			
効率性		●				システムの安定的な運用と図書館利用者へのサービスを向上させることができたため、「3」としました			
公平性	●					市内在住又は市内に通勤・通学している方なら誰でも利用可能な図書館システムであることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		令和6年7月にシステム更新を予定していますが、今後も継続して中央図書館及び図書コーナー利用者へのサービス向上や安定的な運用を図る必要があります。					事業終了の 予定の有無	無	
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 04社会教育費

目 02社会教育施設費

事務事業番号 10040202

事業名		社会教育施設整備		担当部署	教育部 生涯学習課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価		
	予算・決算額(A)	12,351	12,176	7,589	<p>有効性</p> <p>公平性</p> <p>効率性</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>		
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	11,700	11,700				7,500	
		一般財源	651	476				89	
	人件費(B)	715	715	715					
	事業費計(A+B)	13,066	12,891	8,304					
事業の目的	指定管理施設（中央図書館、文化会館、文化交流センター）の設備等更新に必要な経費としています。								
事業の内容 SDGs17の目標	 <ul style="list-style-type: none"> <li>中央図書館のトップライト硝子破損部の交換をしました。</li> <li>中央図書館のエレベーターの部品を交換しました。</li> <li>文化会館の非常用発電機のバッテリーを交換しました。</li> <li>文化交流センターの窓を改修しました。</li> <li>文化交流センターの暖房用循環温水ポンプの部品を交換しました。</li> </ul>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●						エレベーター部品の交換など設備等の更新により安全安心な施設運営が可能となったため、「4」としました。	
	効率性		●					本事業は、将来にわたって効果が得られると考えられるため、「3」としました。	
公平性	●			本事業により利用者の安全安心が確保できることから、「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性	施設設備の更新により、利用者が安心して施設を利用することが可能となりました。今後も指定管理者との連携を密に行い、必要な対策を講じていきたいと考えています。						事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 04社会教育費

目 02社会教育施設費

事務事業番号 10040203

事業名		図書館情報システム更新事業		担当部署	教育部 生涯学習課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	6,183	6,180	18,258				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	6,183	6,180					
		一般財源							18,258
	人件費(B)	3,576	3,576	3,576					
事業費計(A+B)	9,759	9,756	21,834						
事業の目的		図書館の蔵書、利用者情報等の管理を行っている図書館システムの保守サポート期限が終了することから、引き続き安定した図書館サービスの提供を確保できるように、図書館情報システムの更新を行います。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <p>現在、中央図書館ほか市内8か所の図書コーナーで使用されているNEC社製の図書館情報システム「Rics-RE2」の保守サポート期限が終了することから、引き続き安定した図書館サービスの提供を確保するとともに、さらなる利便性の向上を図るため、図書館情報システムの更新を行います。</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度			
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●				図書館の蔵書、利用者情報等の管理を行っている図書館情報システムの安定的な運用を図るために必要不可欠であることから、「4」としました。			
効率性			●			図書館情報システム更新業務の受託者を選定するに当たり、公募型プロポーザル方式を用いることで、最新のシステムへ費用を抑えて更新することができたため、「3」としました。			
公平性		●				図書館サービスを利用するうえで、誰もが利用するシステムの更新であることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		図書館情報システムの更新により、スマートフォンを利用者カードとして利用できるようになるなど図書館利用者の利便性が向上します。 現在、令和6年7月からの稼働に向けて最終調整中です。				事業終了の 予定の有無			
						有 (令和6年度)			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 04社会教育費

目 02社会教育施設費

事務事業番号 10040205

事業名		社会教育施設電気料金高騰支援補償金		担当部署	教育部 生涯学習課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	2,845	1,309	-				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	2,845	1,309					
	人件費(B)	1,423	1,423	-					
事業費計(A+B)	4,268	2,732	-						
事業の目的		燃料価格高騰などの影響による電気料金の大幅な値上げが続いたことをうけ、指定管理者制度導入施設に対して電気料金の不足額の補填を目的としています。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <p>令和5年度の基準管理費に含まれる電気料金と令和5年度（令和5年4月から令和6年3月分）の電気料金の実績を比較し、不足する額を補填する事業です。</p> <p>文化会館 328,159円 文化交流センター 981,118円</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度			
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●				施設の管理運営の安定確保に十分な効果があったことから、「4」としました。			
効率性			●			事業の実施により、施設の管理運営の水準を維持できたことから、「3」としました。			
公平性		●				市民に対して、施設の利用機会・利用環境を平時と同水準で継続して平等に提供できたことから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性						事業終了の 予定の有無			
						有 (令和5年度)			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 04社会教育費

目 02社会教育施設費

事務事業番号 10040204

事業名		社会教育施設補償金		担当部署	教育部 生涯学習課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		2,748	2,748			-		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	2,748	2,748					
	人件費(B)		949	949			-		
事業費計(A+B)		3,697	3,697	-					
事業の目的		新型コロナウイルス感染症対策に伴う施設の利用料金の減収に対する指定管理者への補填を目的としています。							
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>指定管理者が施設の運営に要する経費として指定管理料と利用料金収入を見込んでおり、新型コロナウイルス感染症対策に伴うイベント等の中止や施設の利用制限を行ったため利用料金が減収したことから、これを補填する事業です。</p> <p>文化会館 342,430円 文化交流センター 2,405,270円</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度			
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				施設管理運営の安定確保に十分な効果があったことから、「4」としました。			
効率性			●			事業の実施により、施設の管理運営の水準を維持できたことから、「3」としました。			
公平性		●				市民に対して施設の利用機会を継続して平等に提供できたことから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性						事業終了の 予定の有無			
						有 (令和5年度)			
特記事項									

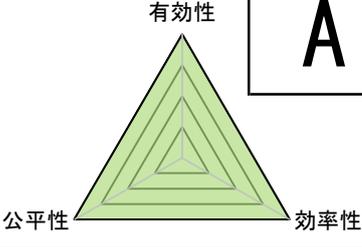
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 04社会教育費

目 05美術博物館費

事務事業番号 10040501

事業名		遺跡発掘調査等事業		担当部署	教育部 美術博物館				
根拠法令		文化財保護法							
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		2,783	1,443			3,758		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金	1,391	722			1,879		
		地方債							
		その他							
		一般財源	1,392	721			1,879		
	人件費(B)		5,721	5,721			5,721		
事業費計(A+B)		8,504	7,164	9,479					
事業の目的		苦東開発地域内での遺跡の有無と範囲を確認し開発のスムーズな進行を図ります。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育をみんなに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> </div> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>1 埋蔵文化財（遺跡）の把握については、各地域の状況を最も適切に把握することができる市町村教育委員会が行うこととし、埋蔵文化財保護と開発事業との円滑な調整を図るため、積極的に分布調査を行うこととされています。</p> <p>2 苦東柏原・静川地区での調査では、平成25年度までの5か年計画で24か所の遺跡が確認されたため、事業は平成26年度以降も継続して実施され、平成30年度までに15か所の遺跡が確認されています。調査は未調査地区等を対象として、文化庁の補助事業として実施しています。対象地区では重機と作業員により掘削と精査を行い、埋蔵文化財包蔵地の有無とその範囲を確認しました。</p>							
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R4年度	R3年度			
		遺跡発掘	箇所	2	4	6			
項目評価		高 → 低	評価の理由						
		4 3 2 1							
有効性		●				平成21年度から15年間継続して事業を行った苦東地区では、遺跡の様相が明らかになることで開発事業もスムーズに展開しており、有効性は高いといえます。			
効率性		●				文化庁の文化財関係国庫補助事業を申請し、5割を国庫補助金で補い、事業を推進しました。			
公平性		●				企業を含む多くの市民と連携して、公平性を保つよう事業を推進しました。			
事業の課題 今後の方向性		本事業により埋蔵文化財包蔵地の有無とその範囲を事前に確認することで、開発事業が円滑に執り行われるだけでなく、埋蔵文化財の保護にもつながっているため、今後も継続して実施してまいります。				事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

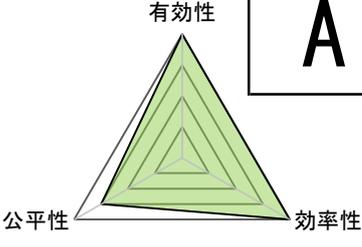
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 04社会教育費

目 05美術博物館費

事務事業番号 10040502

事業名		美術博物館企画展示事業		担当部署	教育部 美術博物館			
根拠法令		博物館法、苫小牧市美術博物館条例						
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価 	総合評価 <b>A</b>		
	予算・決算額(A)	4,104	3,701	4,710				
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他	2,240	2,240			2,000	
		一般財源	1,864	1,461			2,710	
	人件費(B)	5,721	5,721	5,721				
	事業費計(A+B)	9,825	9,422	10,431				
事業の目的	地域の自然や歴史、文化について理解を深めてもらうとともに、美術館基本構想及び基本計画に掲げた「市民に開かれた美術館」「子どもたちの感性を育む美術館」「文化芸術活動の拠点としての美術館」の3つの基本理念を実現します。							
事業の内容 SDGs17の目標	<p>1 「美術所蔵名品選：風景画×静物画編」令和5年4月29日～6月25日 当館所蔵の絵画作品の中から、風景画及び静物画を精選して紹介することで、絵画表現ならではの魅力にふれていただく機会を設けました。</p> <p>2 「昔の道具～水と暮らし～」令和5年12月9日～令和6年1月28日 水と関わりの深い昔の道具を紹介することにより、今の暮らしとの繋がりについて紹介しました。</p> <p>3 「鹿毛正三—アトリエより—」令和6年2月10日～3月24日 四季折々の自然の豊かな表情を表した郷土の画家・鹿毛正三（1923～2002）の生誕100年を記念し、アトリエに残された未発表作品を中心に展示しました。</p> <p>4 「THE SNOWFLAKES」令和5年12月9日～令和6年3月24日 2020年に白老町で結成された、奈良美智、国松希根太、小助川裕康、奥山三彩の4人組のアーティストコレクティブ「THE SNOWFLAKES」による新作インスタレーションを紹介しました。</p>							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度		
	企画展事業数		回	4	3	3		
	企画展入館者数		人	8,114	7,721	7,958		
項目評価	高 → 低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●						美術博物館開館10周年を記念する収蔵品展、郷土画家や現代作家の活動を紹介する美術展、昔の道具に焦点を当てた展示など、周年事業を実施した結果、観覧者数が前年比で述べ400人近く増加しました。
	効率性	●						10周年記念ロゴを作成のうえ各事業の広報物に掲載するなど効果的なPRIに努めました。また、冬季実施の現代美術展について、同時期開催の「札幌国際芸術祭」連携事業として無償で位置付け、来館者誘致につなげました。
公平性		●			館所蔵の収蔵品を紹介するだけでなく、全国的な知名度を誇る美術家の協力等も得ながら地域の現代美術について紹介する機会を設けましたが、美術分野に対象範囲が偏った面があったことから「3」としました。			
事業の課題 今後の方向性	美術館設置の10周年ということで、市民ニーズも意識しながら、美術分野を主体とする事業構成とすることで「文化芸術の拠点としての美術館」という役割を果たすことができました。 今後は市民の理解を得ながら、幅広い展示事業を行うことで地域の自然、歴史、文化について理解を深めてもらうとともに、より質が高くバランスのとれた展示活動の実施に努めます。					事業終了の 予定の有無		
						無		
特記事項								

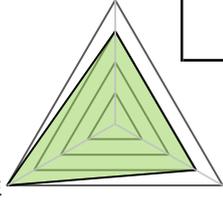
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 04社会教育費

目 05美術博物館費

事務事業番号 10040503

事業名		美術博物館特別展事業		担当部署	教育部 美術博物館		
根拠法令		博物館法、苫小牧市美術博物館条例					
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価  有効性  公平性 効率性	総合評価  <b>B</b>	
	予算・決算額(A)	5,611	5,245	4,973			
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他	3,250	3,245			3,550
		一般財源	2,361	2,000			1,423
	人件費(B)	3,576	3,576	3,576			
	事業費計(A+B)	9,187	8,821	8,549			
事業の目的	地域の自然や歴史、文化について理解を深めてもらうとともに、美術館基本構想及び基本計画に掲げた「市民に開かれた美術館」「子どもたちの感性を育む美術館」「文化芸術活動の拠点としての美術館」の3つの基本理念を実現します。						
事業の内容  SDGs17の目標  	<p>特別展「縄文≡現代～共鳴する美のかたち」令和5年7月15日～9月3日</p> <p>「縄文」と「現代」という2つの時代の造形表現を紹介する、複合施設ならではの企画とした本展では、土器や土偶といった縄文時代の文化財や戦後日本の美術作品の多彩な表現を比較することで、両者に共通する人間の普遍的な精神や表現の豊かさにふれる機会とするため、約200点の資料をもとに紹介しました。また、「苫小牧市・八戸市交流連携協定（はちとまネットワーク）」の5周年事業としても位置付け、各種連携事業を実施し、文化分野の交流を図りました。</p>						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度	
	特別展入館者数		人	3,668	10,636	1,428	
項目評価	高 → 低		評価の理由				
	4	3	2	1			
	有効性		●		美術と考古という複合館ならではの分野を横断した展示を行うことで、市内外の多くの方に関心を持っていただけました。一方で、より効果的な周知の方法を検討する余地があったために、「3」としました。		
	効率性		●		はちとまネットワーク事業と連携して行うことで、事業の効率化を図りました。		
公平性	●				美術と考古の地元ゆかりの資料を展示することで、それぞれの愛好家だけでなく多くの市民や子供たちに貴重な作品をみていただく機会を提供することができたと考えます。		
事業の課題 今後の方向性	美術と博物の複合館という当館の強みを活かした展示会を行うことができました。また、郷土ゆかりの作家の作品や地元出土の資料を展示することで、地域の新たな魅力を発信できました。一方で、周知には課題が残るため、今後はより多角的で効果的な広報活動を通して当館の魅力を発信できるよう一層努めてまいります。					事業終了の 予定の有無	
						無	
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 04社会教育費

目 05美術博物館費

事務事業番号 10040504

事業名		美術博物館祭事業		担当部署	教育部 美術博物館				
根拠法令		苫小牧市美術博物館条例							
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		498	490			498		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	498	490			498		
		一般財源							
	人件費(B)		5,721	5,721			5,721		
事業費計(A+B)		6,219	6,211	6,219					
事業の目的		複合施設の特徴を活かした事業を展開するため、苫小牧アートフェスティバル開催期間中に、子どもから大人までの幅広い市民を対象に、美術博物館祭を開催しています。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>   <ol style="list-style-type: none"> <li>1 美術博物館祭2023</li> <li>2 会期：令和5年7月29日～7月30日</li> <li>3 概要：展示プログラムの観覧をはじめ、ワークショップ等の実施による制作体験や学びを通して、当館の活動に親しむことを目的とし、多彩なプログラムを実施しました。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 実演！昆虫標本づくり 昆虫標本作成の実演を行いました。</li> <li>(2) ミニチュア土器づくり 講師を招き、ミニチュア土器を作成しました。</li> <li>(3) ナイトプログラム 大島慶太郎×中坪敦彦 MONOGRAMSライブ 中庭展示出品作家である大島氏と音響作家の中坪氏によるライブを実施しました。</li> <li>(4) 〈起源のモニュメント〉土偶アーティストになろう！ 当館所蔵の板状土偶などをモチーフに、模刻（復元模型）を作成しました。</li> <li>(5) 土器お面づくり 当館所蔵の土偶をモチーフとしたおめんを作成しました。</li> </ol> </li> </ol>							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度		
		美術博物館祭入館者数		人	898	1,068	中止		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				同時開催の展覧会活動と連動した内容の参加体験プログラムを実施し、当事業だけではなく、展覧会に対する理解も促進する機会となりました。			
効率性			●			同時開催の「苫小牧アートフェスティバル」の連携事業として開催している当事業ですが、別名称のイベントとして実施されていることや連携のあり方については検討の余地があるため、「3」としました。			
公平性		●				当日でも気軽に参加できるプログラムや事前受付で時間をかけて作品を作るプログラムなど、子どもから大人まで幅広い年齢層に対応できる参加体験型のプログラムを実施することができました。			
事業の課題 今後の方向性		美術館設置から10年が経過し、本事業の目標のひとつである「複合施設として生まれ変わった美術博物館を市民により身近に感じていただく」ことについては一定の成果を果たしたと考えます。今後は同時開催の「苫小牧アートフェスティバル」との更なる連携を目指し、事業内容全体の見直しを検討してまいります。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項									

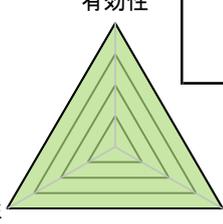
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 04社会教育費

目 05美術博物館費

事務事業番号 10040505

事業名		アイヌ文化関連展示整備事業		担当部署	教育部 美術博物館			
根拠法令		アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律						
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)	985	977	1,114			A	
	(A)の内訳							
	国道支出金	788	781	891				
	地方債							
	その他							
	一般財源	197	196	223				
人件費(B)	5,721	5,721	5,721					
事業費計(A+B)	6,706	6,698	6,835					
事業の目的		地域に存するアイヌ文化を発信し、アイヌ民族の歴史や文化に対する市民の理解を深め、アイヌの人々が誇りを持って生活し、その誇りが尊重される地域社会の実現を目指します。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>   <p>1 「アイヌの丸木舟及び推進具解説の充実」 常設展示室「丸木舟」コーナーで現在展示している映像展示機器に、解説の追加と英語等の表記を加える多言語化を行い、北海道指定有形文化財「アイヌの丸木舟及び推進具」についてより理解を深められるようにしました。</p> <p>2 「アイヌ文化関連講座」 アイヌ民族の首飾り(タマサイ)に用いられているガラス玉や古銭に関する最新の研究成果をもとに、アイヌ文化を紹介する講演会を実施しました。</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R5年度	R4年度	R3年度
		入館者数			人	39,926	35,173	18,362
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				当館所蔵資料に関する最新の研究成果を紹介することができました。		
効率性		●				事業費の8割に国のアイヌ政策推進交付金を活用し、効率的に事業を実施することができました。		
公平性		●				市内外を問わず、幅広い年齢層がアイヌ文化に触れる機会を提供することができました。		
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり概ね目的に沿った事業を展開できていますが、今後も所蔵資料の調査研究やアイヌ文化に関する各種教育普及活動等を通じて、より効果的な事業を展開していきたいと考えます。						
		事業終了の 予定の有無						無
特記事項								

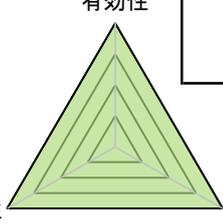
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 10教育費

項 04社会教育費

目 05美術博物館費

事務事業番号 10040506

事業名		出光美術館名品選事業		担当部署	教育部 美術博物館				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R5年度予算	R5年度決算	R6年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	14,975	14,557	-				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	12,320	12,320					
		一般財源	2,655	2,237					
	人件費(B)	5,721	5,721	-					
事業費計(A+B)	20,696	20,278	-						
事業の目的	<p>本事業は美術博物館の開館10周年並びに出光興産(株)北海道製油所の操業50周年の記念事業として開催するものです。本事業の実施により、美術館基本構想及び基本計画に掲げた「市民に開かれた美術館」、「子どもたちの感性を育む美術館」、「文化芸術活動の拠点としての美術館」の3つの基本理念を実現します。</p>								
事業の内容 SDGs17の目標	<div style="display: flex; align-items: center;">   <div style="margin-left: 10px;"> <p>出光興産株式会社北海道製油所操業50周年                      苫小牧市美術博物館開館10周年                      特別展「出光美術館近代美術名品選—四季が彩る美の世界」                      令和5年9月23日(土)～11月19日(日)</p> <p>出光興産株式会社北海道製油所操業50周年及び美術博物館の開館10周年を記念して、公益財団法人出光美術館のコレクションの中から近現代の絵画・陶磁器の優品を借用し、日本の近代美術における、草花や鳥、移ろう季節のイメージの様相を辿りました。日本画、油彩画、工芸品による名品の数々を紹介しました。</p> </div> </div>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R4年度	R3年度			
	出光美術館近代美術名品選入館者数		人	12,433	-	-			
	特別展入館者数		人	3,668	10,636	1,428			
項目評価	高 → 低		評価の理由						
	4	3	2	1					
	有効性	●			美術博物館として開館以来、最高の入館者数を記録しました。また、市民にとっても、なかなか目にすることができない貴重な作品を紹介できたことから、「4」としました。				
	効率性	●			出光興産株式会社北海道製油所の支援により、一般財源の負担が少ない形で実施することができたため、「4」としました。				
公平性	●			特別展観覧料を無料とし、多くの市民だけではなく道民にも貴重な作品を見ていただく機会を提供できたことから、「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性	<p>地元企業の協力を得ることで、道内ではなかなか見ることができない一流の作品を紹介する機会が創出できました。今後も、このような機会を創出できるように地元企業と連携を深めていきます。</p>					事業終了の 予定の有無			
						有 (令和5年度)			
特記事項									